

brother[®]

Brother Laser Printer

HL-1270N

Network built in model

ネットワークユーザズガイド

プリンタをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

目次

第1章 Windows NT/2000のTCP/IP印刷の設定方法

Windows NT/2000(TCP/IP) 設定	1-1
BRAdmin32ユーティリティを使ってIPアドレスを変更する	1-4
ARPコマンドを使ってIPアドレスを変更する	1-7
Windows NT/2000 Print Queue の設定	1-8
Windows NT4.0 Print Queue 設定 (プリンタドライバインストール済)	1-8
Windows NT4.0 Print Queue 設定 (プリンタドライバが未インストール)	1-9
Windows2000 Print Queue設定	1-11
WindowsNT3.5x Print Queue設定	1-12
Windows2000 IPP印刷	1-12

第2章 Windows95/98/Me用のPeer To Peer印刷の設定方法

Brother Peer To Peer(LPR)ポート(TCP/IP)を使用する方法	2-1
BRAdmin32アプリケーションをIPアドレスを変更する	2-1
Brother Peer To Peer(LPR)ポートドライバをインストールする	2-4
プリンタを接続する	2-5
2つ目のBrother LPRポートを追加する場合	2-5

第3章 Windows95/98/Me/NT/2000上でのPeer To Peer (NetBIOS)印刷方法

はじめに	3-1
プリントサーバー設定	3-2
TELNET、BRCONFIGを使ってのワークグループ/ドメイン名の変更	3-3

第4章 Windows95/98/Me/NT/2000用ブラザーインターネットプリント

概要	4-1
この章について	4-3
プリントサーバーの設定	4-4
Windows95/98/Me/NT4.0/2000へのBIPソフトウェアのインストール方法	4-8
2つ目のBrother Internet Portを追加する	4-11

第5章 ノベルNetware IPX/SPXを使って印刷をする

設定方法	5-1
概要	5-2
BRAdmin32を使ってプリントキューを作成する	5-2
BRAdmin32を使ってプリントサーバーを設定する(バインダリ・キューサーバーモード)	5-2
BRAdmin32を使ってプリントサーバーを設定する(NDS・キューサーバーモード)	5-4
ノベルNWADMINとBRAdmin32を使ってプリントサーバーの設定をする (NDS・キューサーバーモード)	5-6
ノベルNWADMINとBRAdmin32を使ってプリンとサーバーの設定をする (NDS・リモートプリンタモード)	5-8
PCONSOLEとBRCONFIGを使ってプリントサーバーを設定する (バインダリ・キューサーバーモード)	5-11
PCONSOLEとBRCONFIGを使ってプリントサーバーを設定する (NDS・キューサーバーモード)	5-13
PCONSOLEとBRCONFIGを使ってプリントサーバーを設定する (バインダリまたはNDS・リモートプリンタモード)	5-15
プリントキューをテストする	5-19
動作環境(DOSベースのNetWareドライバ)を設定する	5-19
動作環境(Windows 95/98/Me)を設定する	5-20

第6章 Macintosh でのセットアップ

システム条件	6-1
プリンタドライバのインストール	6-1
プリンタドライバの選択	6-2

第7章 トラブルシューティング

概要	7-1
インストールの際の問題	7-1
TCP/IPトラブルシューティング	7-4
WindowsNT/2000 (TCP/IP)トラブルシューティング	7-5
Windows 95/98/Me Peer to Peer 印刷(LPR)トラブルシューティング	7-6
Windows95/98/Me/NT4.0/2000 Peer-to-Peer印刷(NetBIOS)トラブルシューティング	7-7
インターネット印刷(TCP/IP)トラブルシューティング	7-8
ノベル NetWare トラブルシューティング	7-9
AppleTalk トラブルシューティング	7-11
その他、印刷上の問題	7-12

付録

コマンドについて	付録-1
コマンドコンソール	付録-3
NetWare コマンド	付録-7
AppleTalk コマンド	付録-9
NetBIOS コマンド	付録-9
インターネットプリント コマンド	付録-10
プリントサーバーのファームウェアをアップデートする	付録-11
概要	付録-11
Windows95/98/Me/NT4.0/2000上でBRAdmin32からリロードする	付録-12
BRAdmin32以外からのファームウェアのアップデート方法	付録-15
パラレルI/Fからの転送	付録-15
TFTPを使ってUNIXホストコンピュータからファームウェアをアップデートする	付録-15
NetWareサーバーからファームウェアをアップデートする	付録-17

索引

第 1 章

Windows NT/2000のTCP/IP印刷の設定方法

Windows NTのユーザーはTCP/IPプロトコルを使用してブラザープリントサーバーに直接ジョブを送信することが可能です。Microsoft Windows NT 3.5及びNT4.0をご使用の方はTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認してください。

Windows NT/2000(TCP/IP) 設定

Windows NTにTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合はインストールしてください

NT 3.5x システム:

- a コントロールパネルを開け、‘ネットワーク’を開きます。
- b ‘ソフトウェアの追加’を選び、‘TCP/IPプロトコルと関連コンポーネント’を選択します。
- c ‘TCP/IP ネットワーク印刷’にチェックし、‘次へ’をクリックします。(既にTCP/IP ネットワーク印刷プロトコルがインストールされている場合は表示されません)
- d 必要なファイルをコピーするために指示されたディスクを入れます。ファイルがコピーされた後、再起動が必要です。

NT 4.0 システム:

- a コントロールパネルから ‘ネットワーク’をクリックし、プロトコルタブを選択します。
- b ‘追加’を選択し、TCP/IPプロトコルをダブルクリックします。
- c 必要なファイルをコピーするため、指示されたディスクか、またはCD-ROMを入れます。
- d サービスタブをクリックして、追加をクリックします。Microsoft TCP/IP 印刷をダブルクリックします。



- e 指示されたディスクかCD-ROMを入れます。
 - f コピーが終了したらプロトコルのタブをクリックします。
 - g TCP/IPプロトコルをダブルクリックして、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定してください。分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- H OKを2回クリックして終了します。(NTサーバーは再起動が必要になります)

Windows 2000 システム:

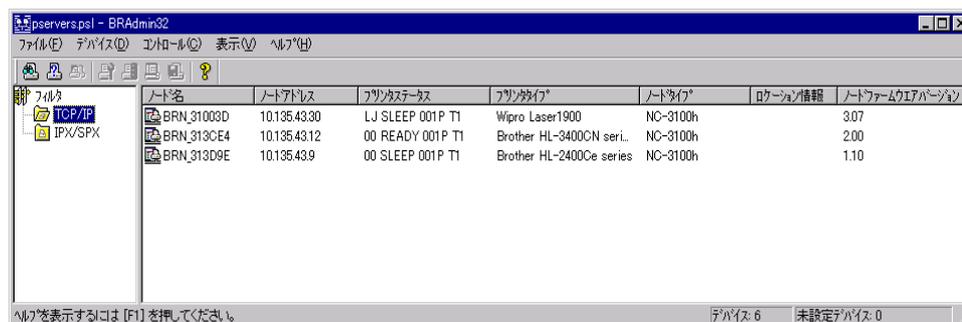
- a Windows2000はデフォルトでTCP/IPプロトコル及びTCP/IP 印刷をサポートしています。
- b プリンタフォルダから ' プリンタの追加 ' を選択してください。
- c ローカルプリンタオプションを選択し、 ' プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする ' オプションを使用不可にしてください。
- d ' 次へ ' をクリックします。
- e Windows2000に標準インストールされている ' Standard TCP/IP port ' を選択してください。
- f ' 次へ ' をクリックします。
- g ' 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード ' が起動しますので、 ' 次へ ' をクリックします。
- h 接続したいプリントサーバーのIPアドレスまたはNetBIOS名を入力してください。
- i ' 次へ ' をクリックしてください。
- j Windows 2000は自動的にプリントサーバーに接続されません。IPアドレスまたはNetBIOS名が正確に設定されていない場合は、エラーメッセージが表示されません。
- k ' 完了 ' ボタンをクリックしてください。
- l これでポートの設定は完了です。使用したいプリンタドライバーのポートの設定を変更してください。

プリントサーバーのIPアドレスの設定方法

ここで、ブラザープリントサーバーにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスの設定は、LCDパネルを有するプリンタの場合は、パネルから設定することが可能です（詳細は、クイックセットアップガイドを参照してください）。あるいは、付属のBRAdmin32ユーティリティを使用して設定することができます。また、DHCPやBOOTP, RARPのような自動IPアドレス割当て機能も使用できます。

BRAdmin32ユーティリティを使ってIPアドレスを変更する

BRAdmin32を起動します（Windows95/98/Me/ NT4.0/2000の場合）



BRAdmin32はTCP/IPまたはIPX/SPXプロトコルを使用してプリントサーバーと通信することができます。プリントサーバーのデフォルトIPアドレスは192.0.0.192ですので、DHCPやBOOTP, RARPを使用していない場合は、IPアドレスの変更が必要になります。BRAdmin32からの変更方法は以下の2つの方法があります。

< IPX/SPXを使ってIPアドレスを変更する >

Netware クライアントがインストールされていることを確認して以下のことを行ってください：

1. メイン画面の左端にあるIPX/SPXのフィルターを選択します
2. リストからプリントサーバーを選択します。(イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルト名はBRN_xxxxxxとなります)

プリントサーバーがBRAdmin32上で見つからない場合は、デバイスメニューを選んで '稼働中のデバイスの検索' (またはF4キーを押して)を選択し、もう一度検索を行ってください。

◆ 注意

設定情報ページを印刷すると、ノード名とイーサネットアドレスを確認できます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

3. 目的のプリントサーバーを選んで、ダブルクリックするとダイアログが開きパスワードの入力を求められます。デフォルトパスワードは、" access " です。
4. ダイアログでTCP/IPタブを選択して、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。
5. ' OK ' をクリックします。

< TCP/IPを使ってIPアドレスを変更する >

お使いのPCにNetwareクライアントがなく、TCP/IPプロトコルしかインストールされていない場合は、この方法を使用します。

1. メイン画面の左端にあるTCP/IPフィルターを選択します。
2. デバイスメニューを選択し、‘稼働中のデバイスの検索’を選択します。

◆ 注意

プリントサーバーが工場出荷状態になっている場合、BRAdmin32上のデバイスリストに表示されません。その代わり稼働中のデバイスの検索による検索後に未設定のデバイスとして認識されます。

3. デバイスメニューを選択し、‘未設定のデバイスの設定’を選択します。
4. 未設定デバイスのリストが表示されますので、目的のプリントサーバーのイーサネットアドレスを選択し、‘設定’をクリックします。

◆ 注意

設定情報ページを印刷すると、ノード名とイーサネットアドレスを確認できます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

5. プリントサーバーのIPアドレス、必要であればサブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
6. ‘OK’をクリックして、‘閉じる’を選択します。

デバイスリストにプリントサーバーが表示されます。

ARPコマンドを使ってIPアドレスを変更する

BRAdmin32を使用できない場合、DOSから”arp -s”コマンドとpingコマンドを使用してIPアドレスを設定することができます。

(例) arp -s 192.189.207.77 00-80-77-31-01-07

実際のプリントサーバーのIPアドレスとイーサネットアドレスをに入れ替えて入力して下さい。

◆ 注意

設定情報ページを印刷すると、イーサネットアドレスを確認できます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

”The arp entry addition failed.” (arpエントリの追加の失敗) と表示された場合、ping コマンドを使用して、ネットワーク上にすでに同じIPアドレスをもった装置がないかを調べてください。Pingに対する応答があった場合は、そのipアドレスはすでに使用されていることとなります。

◆注意

- ARPでの設定は同一ネットワークセグメント内でのみ使用できません。(ルータ越えをすることはできません)
- ルータがある場合、 IPアドレスを入力するにはBOOTPまたは他の方法を使用してください。
- BOOTP, DHCP, RARPを使用している場合、ブラザープリントサーバーは自動的にこれらのサービスからIPアドレスを取得しますので、ARPコマンドは必要ありません。
- 一度ARPコマンドを使用してIPアドレスを設定すると次回からはARPを使用してIPアドレスの変更を行うことができません。工場出荷値にリセットすることにより再度ARPを使用できるようになります。

ARPでの設定を実際にプリントサーバに反映させ、接続を確認するためにpingコマンドを使用してください。

例：

```
Ping 192.189.207.77
Ping Hostname
```

PINGのあとにホスト名またはIPアドレスを入力してください。IPアドレスが正しく認識されていればプリントサーバーから応答があります。反応がない場合は設定情報ページを印刷してIPアドレスを確認してください。

Windows NT/2000 Print Queue の設定

Windows NT4.0 Print Queue 設定 (プリンタドライバインストール済)

◆ 注意

WindowsNT3.5又は3.51を使用している方は、WindowsNT 3.5xの項を参照してください。

プリンタドライバをすでにインストールされている場合、以下のようにしてください：

1. ‘スタート’をクリックし‘設定’、‘プリンタ’を選択してください。
2. 使用したいプリンタドライバをダブルクリックして、‘プリンタ’を選び、‘プロパティ’を選択します。
3. ‘ポート’を選択し、‘ポートの追加’をクリックします。
4. LPR Port (Microsoft TCP/IP 印刷がインストールされていない则表示されません)を使用可能なポートから選択し、‘新しいポート’をクリックします。
5. プリントサーバーのIPアドレスを‘lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス’に入力してください。ホストファイルまたはDNSを使用している場合、IPアドレスの代わりにプリントサーバー名(ホスト名)も入力することができます。また、ブラザープリントサーバーはTCP/IP及びNetBIOSをサポートしていますので、プリントサーバーのNetBIOS名も入力することができます。NetBIOS名は設定情報ページで確認することが出来ます。NetBIOS名のデフォルト名は、イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき‘BRN_xxxxxx’となります。
6. ‘サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名’にプリントサーバーのサービス名を入力してください。サービス名が分からない場合は、BINARY_1を入力し、OKをクリックしてください。



7. '閉じる' をクリックします。

以上で、プリンタに対して印字することが可能です。

プリンタを共有したい場合は、'共有' をクリックしプリンタの共有設定をして下さい。

Windows NT4.0 Print Queue 設定 (プリンタドライバが未インストール)

◆ 注意

Windows NT3.5, 3.51をご使用の場合、次の項目を参照してください。

1. 'スタート' から '設定' を選択し、'プリンタ' を選択します。プリンタの追加をダブルクリックします。'マイコンピュータ' を選択し、'次へ' をクリックします。
2. 'ポートの追加' を選び、'LPRポート' を選択して、'新しいポート' をクリックします。
3. 'lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス' にIPアドレスを入力してください。HOSTSファイルをまたはDNSを使用している場合、IPアドレスの代わりにプリントサーバー名(ホスト名)を入力してください。また、ブラザープリントサーバーはTCP/IP及びNetBIOSをサポートしていますので、プリントサーバーのNetBIOS名も入力することができます。NetBIOS名は設定情報ページで確認することが出来ます。NetBIOS名のデフォルト名は、イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき "BRN_xxxxxx" となります。
4. 'サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名' にプリントサーバーのサービス名を入力してください。サービス名が分からない場合は、通常BINARY_P1を入力し、OKをクリックしてください。



5. '閉じる'をクリックします。プリントサーバーのIPアドレスに関連したポート名がリストされます。'次へ'をクリックします。
6. プリンタのモデル名を選択します。リストにモデル名が表示されない場合は'ディスクを使用'をクリックし、プリンタドライバーの場所を指定してください。
7. プリンタドライバーが既にインストールされている場合は、'現在のドライバーを使う(推奨)'を選択します(プリンタドライバーがインストールされていない場合は、このステップをスキップしてください)'次へ'をクリックします。
8. 必要に応じてプリンタ名を変更し、'次へ'をクリックします。
9. プリンタを共有したい場合は'共有'をクリックし、プリンタの共有設定を行ってください。'次へ'をクリックします。
10. テストページを印字し、動作確認を行ってください。

Windows2000 Print Queue 設定

Windows2000はネットワークプリントに対して様々な方法を提供しています。Windows2000の標準TCP/IP 印刷を用いて使用する場合は、下記ステップに従ってください。

1. プリンタフォルダから 'プリンタの追加' を選択し、'プリンタウィザードの追加' を起動し、'次へ' をクリックします。
2. ローカルプリンタオプションを選択し、'プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする' のクリックをはずしてください。
3. 次へをクリックし、標準TCP/IPポートを選択します。
'次へ' をクリックします。
4. '標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード' が起動しますので、'次へ' をクリックします。
5. 接続したいプリントサーバーのIPアドレスまたはNetBIOS名を入力してください。
6. '次へ' をクリックします。
7. Windows2000は自動的にプリントサーバーに接続します。IPアドレスまたはNetBIOS名が正確に設定されていない場合は、エラーメッセージが表示されません。
8. '完了' をクリックしてください。

これでポートの設定は完了です。使用したいプリンタドライバーのポートの設定を変更してください。

Windows NT3.5x Print Queue 設定

Windows NT3.5, 3.51をご使用の場合は、以下の手順に従ってください。

1. メイン画面から 'プリントマネージャー' を選択します。
2. 'プリンタ' を選択し、'プリンタの作成' を選択します。
3. プリンタ名を入力します。
4. 'ドライバ' を選択し、適切なドライバを選択します。
5. 必要に応じて '説明' を選択し、何かを入力します。
6. 'プリント先' を選択し、'その他' を選びます。
7. 'LPRポート' を選択します。
8. 'lpdを提供しているホストサーバーの名前またはアドレス' にIPアドレスを入力します。HOSTSファイルまたは、DNSを使用している場合は、IPアドレスの代わりにプリントサーバー名(ホスト名)を入力してください。
9. 'マシンのプリンタ名' にサービス名を入力します。サービス名が分からない場合は、通常はBINARY_P1と入力してOKをクリックしてください。
10. 必要に応じてプリンタを共有してください。

Windows2000 IPP印刷

◆ 注意

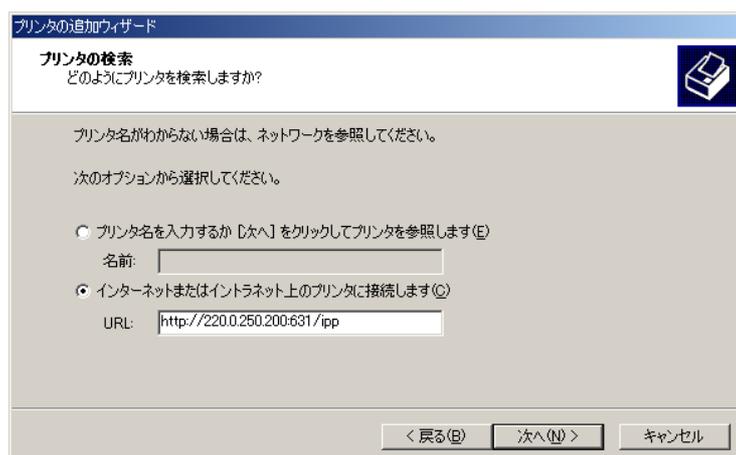
IPP使用時には、プリンタに4MB以上のメモリの増設が必要です。

IPP(Internet Printing Protocol)はWindows2000上で、インターネットもしくはイントラネットを通じてプリントジョブを送れるプロトコルです。設定方法については下記を参照してください。

1. 'プリンタの追加ウィザード' を起動し、'次へ' をクリックします。
2. 'ネットワークプリンタ' を選択してください。

3. 'インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します' を選択し、下記のURLを入力して下さい：http://printer_ip_address:631/ipp

'printer_ip_address' にはプリンタのIPアドレスを入力してください。下記に例を示します。



プリンタがDNSサーバに登録されている場合は、プリンタのホスト名も入力することが可能です。

例：<http://printer.brother.com:631/ipp>

4. '次へ' をクリックすると、指定したURL (プリンタ) に接続されます。

プリンタドライバが既にインストールされている場合

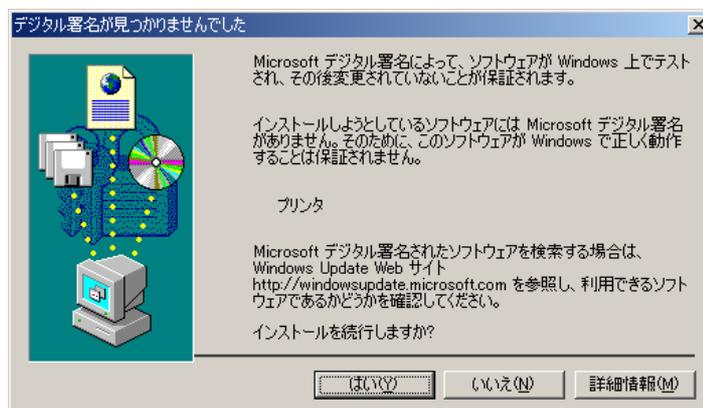
プリンタドライバが既にPCにインストールされている場合は、Windows2000は自動的に既存のプリンタドライバを使用します。これで、設定が完了します。

プリンタドライバがインストールされていない場合

5. Windows2000が接続できるプリンタを表示します。プリンタのモデル名が表示されるので、接続したいプリンターを選択し、OKをクリックしてください。
6. Windows2000にプレインストールされているプリンタドライバリストが表示されます。“ディスク使用” をクリックして下さい。
7. 商品に添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、“参照” を選択します。プリンタードライバのフォルダを選択してください。

8. モデル名を選択後、“プリンタ追加ウィザード”から‘OK’をクリックします。

プリンタドライバインストール中に、下記ダイアログが表示される場合がありますが、使用には問題ありませんので“はい”をクリックしてください。その後プリンタドライバがインストールされます。



9. ‘完了’をクリックしてください。テストページを印刷し、接続が正しく行われているかを確認してください。

違うポート番号を使用する

前例では、ポート番号631が明記されています（IPP標準ポートです）。ただし、ファイアウォールまたはルーターがこのポート番号を通さない場合は、標準HTTPポート80を使用することが出来ます。URLにポート番号を指定しなければ、Windows2000は自動的にポート80を使用します。

例えば、`http://220.0.250.200/ipp` はポート80を使用し、`http://220.0.250.200:80/ipp` と同じ意味になります。

◆ 注意

Windows2000のプリンタリストWindow上で前述のURLを使用するIPPプリンタを選択した場合、ポート番号に関わらず、‘詳細’へのリンクをクリックしてもエラー表示となり、詳細機能は使用できません。

第 2 章

Windows95/98/Me用のPeer To Peer印刷の設定方法

Microsoft Windows95/98/Meオペレーティングシステムは標準でネットワーク機能をサポートしており、NetwareやWindowsネットワーク環境で使用することができます。

また、小規模ネットワーク用にWindows95/98/MeはPeer To Peerモードを使用することも可能です。Peer To Peerモードでは、ファイルサーバーに接続しなくてもクライアントPC同士をネットワークでシェアすることができます。ブラザープリントサーバーもこのようなPeer To Peer モードで使用することも可能です。

Windows95/98/Me Peer To Peerを用いてプリントサーバーに印刷するには、Brother Peer To Peer (LPR)ポートドライバを使用します

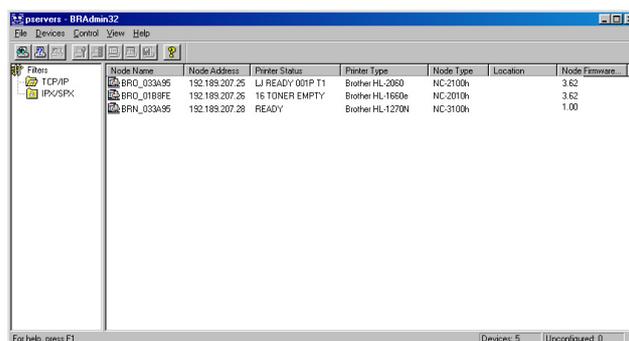
Brother Peer To Peer (LPR)ポート (TCP/IP) を使用する方法

始めに、ご使用のPCにTCP/IPプロトコルがインストールされ、IPアドレス等が正しく設定がされていることを確認してください。また、プリントサーバーに対してもIPアドレスを設定する必要があります。TCP/IPプロトコルのインストール方法についてはWindows95/98/Meに付属の説明書を参照してください。

BRAdmin32アプリケーションを使ってIPアドレスを変更する

ここでは、付属のネットワーク設定用ユーティリティBRAdmin32を使用した、プリントサーバーのIPアドレスの設定方法について説明します。

BRAdmin32ユーティリティ画面 (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000から)



BRAdmin32はIPX/SPXまたはTCP/IPプロトコルを用いてプリントサーバーと通信し、設定を変更することができます。プラザープリントサーバーのデフォルトIPアドレスは192.0.0.192です。DHCPやBOOTP, RARPを使用していない場合、IPアドレスの変更が必要になります。BRAdmin32を用いてIPアドレス等の設定変更をするには2通りの方法があります。

- 1) IPX/SPXプロトコルを使用して設定する
- 2) TCP/IPプロトコルを使用して設定されていないデバイスとして認識させて設定を行う

< IPX/SPX を使用してIP アドレスを変更する >

ご使用のパソコンにNetwareクライアントがインストールされている場合は、下記手順で設定を行ってください。

1. メイン画面の左隅のIPX/SPXフィルタを選びます。
2. プrintサーバー名をチェックします。(イーサネットアドレス)の下位6桁がxxxxxxのとき、デフォルト名はBRN_xxxxxxです。)
3. ご使用のプリントサーバー名が表示されない場合は“デバイス”を選び“稼働中のデバイスを検索する”(またはF4キーを押す)を選択し、やり直してください。

● 注意

プリントサーバーの設定情報ページを印刷するとノード名、イーサネットアドレス等を確認できます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

4. 設定したいプリントサーバーを選択し、ダブルクリックします。パスワードの入力を求められますのでプリントサーバーのパスワードを入力してください。デフォルトパスワードは“access”です。
5. TCP/IPタブを選択して、IPアドレス、また必要であればサブネットマスクとゲートウェイを設定します。
6. OKをクリックします。

< TCP/IP を使ってIP アドレスを変更する >

ご使用のパソコンにTCP/IPがインストールされている場合は以下の要領に従ってください。

1. メイン画面の左隅のTCP/IPフィルタを選択します。
2. ‘デバイス’ を選び, ‘稼働中のデバイスの検索’ を選びます。

● 注意

プリントサーバーの設定情報ページを印刷するとノード名, イーサネットアドレス等を確認できます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

3. ‘デバイス’ を選び, ‘未設定のデバイスの設定’ を選択します。
4. ダイアログ中のリストでプリントサーバーのイーサネットを選択し、設定ボタンをクリックします。

● 注意

プリントサーバーの設定情報ページを印刷するとノード名, イーサネットアドレス等を確認できます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法はクイックセットアップガイドを参照してください。

5. プrintサーバーのIPアドレス、 また必要ならサブネットマスク , ゲートウェイを入力します。
6. ‘OK’ をクリックして ‘閉じる’ を選びます。 .

IPアドレスが正しく設定されたら、プリントサーバーがデバイスリストに表示されます。

Brother Peer To Peer (LPR)ポートドライバーをインストールする

1. クイックセットアップガイドを参照し、CD-ROMのインストールメニューを開始します。
2. 該当するモデルとソフトのインストールメニューを選択し、ネットワークプリントソフトメニューを選択します。
3. ‘次へ’をクリックします。
4. Brother Peer To Peer Print (LPR)を選択します。
5. インストールするフォルダーを選択し、‘次へ’をクリックします。フォルダーがない場合は自動的にフォルダーが作成されます。
6. 使用したいポート名を設定してOKを押します。デフォルトポート名はBLP1です。必ず“BLP”で始まるように設定してください。
7. ‘プリンタ名かIPアドレス’の中に、プリントサーバーのIPアドレスを入力してください。コンピュータがhosts ファイルまたはDNS (Domain Name Service) を使用してプリントサーバーのIPアドレスを設定している場合は、プリントサーバー名も入力可能です。また、プリントサーバーはNetBIOS名もサポートしていますのでNetBIOS名も入力可能です。NetBIOS名は設定情報ページで確認することができます。イーサネットアドレスの下位6桁がxxxxxxx のとき、NetBIOSは“BRN_xxxxxx”とります。

◆ 注意

- Windows95/98/MeのHostsファイルはC:\Windowsディレクトリの中にあります。
- デフォルトでは、Windows95/98/Meのホストファイルはhosts.samとなっています。ホストファイルを使用する場合は、拡張子をなしにして保存してください。

8. OKをクリックし、コンピュータを再起動してください。

プリンタを接続する

1. Windows95/98/Me標準プリンタセットアップを用いてプリンタドライバをインストールします。プリンタドライバをインストールするためにはスタートボタンを選択し、'設定'から'プリンタ'を選択してください。
2. 'プリンタの追加'を選択してください。
3. プリンタウィザードを選択し'次へ'をクリックします。
4. 'ローカルプリンタ'を選択し、'次へ'をクリックします。
5. プリンタドライバを選択し、'次へ'をクリックします。
6. 既にPCにプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のドライバを使用するか、新規にインストールするかを選択し、'次へ'をクリックします。(既存のドライバを使用することを推奨します)
7. Brother LPRポートを選択し、'次へ'をクリックします。
8. プリンタに希望する名前を入力し、'次へ'をクリックします。
9. テストページを印字し、'終了'をクリックします。

これでBrother Peer To Peer (LPR)印刷ソフトのインストールは完了です。

2つ目のBrother LPRポートを追加する場合

新たにBrother LPRポートを追加する際は、'スタート'から、'設定'を選択し、'プリンタ'を選択します。使用したいプリンタのアイコンをクリックし、'ファイル'から'プロパティ'を選択します。詳細タブをクリックし、'ポートの追加'を選択します。その他から'Brother LPRポート'を選択します。OKをクリックして、ポート名を入力してください。デフォルトポート名はBLP1です。既にBLP1が使用されている場合は、エラーメッセージが表示されます。その際にはポート名を変更し(BLP2など)設定を行ってください。ポート名を設定したら、OKをクリックします。

使用したいプリントサーバーのIPアドレスを入力してOKをクリックします。プリンタドライバの'印刷先のポート'の中に作成したポートが表示されます。

第3章

Windows95/98/Me/NT/2000 上での Peer To Peer (NetBIOS) 印刷方法

はじめに

ブラザープリントサーバーはNetBIOS/IPまたはNetBEUI上でSMB(Server Message Block)プロトコルをサポートしており、このプロトコルを使用してMicrosoft互換ネットワーク上でプリンタに対して直接印字することができます。なお、HL-1270NではNetBEUIは、サポートしていませんので、NetBIOS/IPのみ使用できます。

この機能を使うためには、プリントサーバーのドメイン名またはワークグループ名をお使いのPCのドメイン/ワークグループと同一に設定する必要があります。一度設定を行うと、プリントサーバーは“ネットワークコンピュータ”上に表示され、プリンタドライバ以外の特別なソフトウェアをインストールしなくても直接印字できるようになります。

しかし、プリンタがある印刷ジョブを処理している間に、別のPCから別の印刷ジョブを送信しようとするすると“プリンタビジー”メッセージを表示され、送信できない場合があります。

● 注意

NetBIOS/IPを使用する場合は、初めにPCプリントサーバーにIPアドレスが設定されていることを確認してください。TCP/IPネットワークの設定に関しては、“WindowsNT/2000でのTCP/IP印刷設定方法”または“Windows95/98/MeでのPeer To Peer印刷設定方法”の章を参照してください。

NetBIOS/NetBEUIを使用する場合は、PCにNetBEUIプロトコルがインストールされている必要があります。

プリントサーバー設定

お使いのWindows 95/98/MeまたはNT4.0/2000と同じワークグループ/ドメイン名がプリントサーバーにも設定されていることを確認してください。Windows95/98/Meでは、デフォルトでは“WORKGROUP”というワークグループに属しますが、インストール時やあとで変更が可能です。WindowsNT/2000環境では、セキュリティーの集中管理のためにワークグループとは別にドメインという概念を提供しています。ネットワークが、ワークグループまたはドメインを校正している場合、プリントサーバーはドメインかワークグループかの違いには関知しませんの、単純にそれらの名前を指定してください。ブラザープリントサーバーはデフォルトでは‘WORKGROUP’という名前をワークグループ/ドメイン名として持ちます。名前の変更が必要な場合は、それを認識するようブラザープリントサーバーを設定できます。これには、以下の4つの方法があります。(お使いのワークグループ/ドメイン名が不明な場合は、コントロールパネルからネットワークのプロパティを開いて確認してください。)

<Windows95/98/Me/NT4.0/2000>

BRAdmin32を使用して設定してください。BRAdmin32を使用するさいはPCにTCP/IPまたはIPX/SPXプロトコルがインストールされていることを確認してください。

<TELNET>

プリントサーバー、PCの両方にIPアドレスが事前に設定されていれば、TELNETでコマンドコンソールを使用して設定ができます。Netware DOS環境では、付属のBRCONFIGを使用してコマンドコンソールから設定することも可能です(この場合、IPX/SPXプロトコルを使用します。またネットワークにNetwareサーバーが必要です)。

● 注意

設定後、プリントサーバーがネットワーク上で認識されるのに数分かかる場合があります。また逆に、プリンタの電源を切ってもネットワーク上からプリントサーバーが消えるのに数分かかる場合があります。

TELNET、BRCONFIG を使ったワークグループ/ドメイン名の変更

BRAdmin32またはWebブラウザを使用できない場合は、TELNETかBRCONFIGのリモートコンソールプログラムで設定することができます。(BRCONFIGを使用するためにはPCにIPX/SPXプロトコルがインストールされていなければいけません)

プリントサーバーに接続したら、パスワードを入力してください。(デフォルトパスワードは“access”です)“Enter Username”には適当にタイプし、“Local>”プロンプト状態にしてください。

以下のコマンドを入力してください；

```
SET NETBIOS DOMAIN domainname  
EXIT
```

domainnameにはドメインまたはワークグループ名を入力してください。ワークグループ/ドメイン名が分からない場合は、コントロールパネルからネットワークコンピュータのプロパティを開いて確認してください。

第4章

Windows95/98/Me/NT/2000用

ブラザーインターネットプリント

Windows95/98/Me/NT4.0/2000でブラザーインターネットプリント（BIP）ソフトウェアを使用することにより、インターネット経由でブラザープリンタへプリントジョブを送ることができます。例えば、東京のユーザーが、Microsoft Excelの印刷データを大阪のプリンタへ直接送信し印刷することができます。

概要

BIPソフトウェアは、Windows95/98/Me/NT4.0/2000にインストールすることができます。通常のプリンター設定と同様の手順でWindows95/98/Me/NT4.0/2000上に仮想ポートを作成します。この仮想ポートには、Windows95/98/Me/NT4.0/2000用のプリンタードライバーを使用することができます。従って、すべてのWindows用のアプリケーションからこの機能を使用することが可能です。

プリントジョブがBIP仮想ポートに送信されると、印刷情報はMIMEエンコードされ（標準インターネットメールメッセージに変換される）メールサーバを介して遠方のブラザープリントサーバーのメールアドレスに送信されます。

なお、この機能は、インターネットあるいはイントラネット上の電子メールシステムを利用しますので、送信側と受信側でインターネット電子メール用のメールサーバーが稼働している必要があります。

詳細については、下記の方法でおこないます。

LAN (Local Area Network) 上で使用している場合は、電子メールはLAN上のメールサーバーに送信されます。

インターネットサービスプロバイダに直接モデムで接続している場合は、インターネットサービスプロバイダが、プリントサーバーのあるリモートサイトへ電子メールを送信します。

また、プリントサーバーのあるリモートサイトでは、受信側のメールサーバーが電子メールを受け取ります。プリントサーバーにはあらかじめ電子メールアドレスを取得しておき、そのメールサーバーからPOP3 (Post Office protocol3) を使用してMIMEエンコードされたメールを受信し、それをデコードして印字します。

● 注意

プリントサーバーがBIP仮想ポートドライバを使用したものではない単純な電子メールを受け取った場合は、プリンタはその内容をテキスト文として直接印刷しようとしませんが、日本語フォントを内蔵していないプリンタでは正常に日本語メールを印刷できません。

この章について

この章は下記の項目について説明しています。

リモートサイトでの、ブラザープリントサーバーの設定方法
ローカルサイトでの、Windows95/98/Me/NT4.0/2000のPCにおけるBIPソフトウェアのインストール方法

以下の説明において、リモートサイトのプリントサーバーは既にIPアドレスを取得していることを前提としています。またPCではすでにメールサーバーに対する設定がされていることを前提としています。もしそうでない場合には、管理者に確認してください。

プリントサーバーの設定

ここではリモートサイトにあるプリントサーバー設定について説明します。プリントサーバーの設定はBRAdmin32, TELNETまたはwebブラウザ経由で行ってください。TELNETを使用する場合は、Appendixを参照してください。

プリントサーバー設定チェックリスト

● **注意**
プリントサーバーの設定を行う前に、リモートサイトのメールサーバーが、TCP/IP, POP3及びSMTPが使用できることを確認してください。(SMTPは通知機能を使用する場合のみ必要です。)

1. プリントサーバー用のメールアドレス、メールアカウント及びパスワードをリモートサイトのメールサーバー (POP3サーバー) に登録してください。(一般的に、メールアカウント名はメールアドレスの最初の部分になります。例えば、割り当てられたアドレスがemailprinter@xyz.comであった場合は、メールアカウントはemailprinterとなります。)
2. プリントサーバーが動作しており、TCP/IPが有効で、IPアドレスが設定されていることを確認してください。

通常ネットワーク上からメールサーバーへのアクセスは制限されていますので、設定やメールアカウントの追加はネットワーク管理者の確認が必要となります。

プリントサーバー設定をBRAdmin32で行う方法

● 注意

プリントサーバーを設定する際、リモートコンソールまたはWebブラウザを使用する場合は、この章は飛ばしてください。

TCP/IPまたはIPX/SPXがPCにインストールされている場合、BRAdmin32を使用してブラザープリントサーバーを設定することができます。

BIPソフトウェア-が設定されているWindows95/98/Me/NT4.0/2000からのBIPプリントジョブを受信するためには、下記の設定が必要です。

1. BRAdmin32を起動します。
2. リストからブラザープリントサーバーのノード名を選択し、ダブルクリックしてください。(デフォルトノード名はBRN_xxxxxxです。xxxxxxはイーサネットアドレスの末尾6桁です)。パスワードの入力を求められますので、プリントサーバーのパスワードを入力してください。デフォルトパスワードは“access”です。

● 注意

設定情報ページを印刷するとノード名及びイーサネットアドレスを確認することができます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

3. POP3/SMTPタブをクリックします。
4. あて先プリンタのあるリモートサイトのPOP3サーバーのIPアドレスを入力します。(IPアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください)
5. プrintサーバーのメールアカウントを入力します。
6. 必要であればメールアカウントのパスワードを入力してください。
7. プrintサーバーは、30秒ごとにPOP3サーバーに接続するようにPOP3ポーリング間隔で設定されていますが、必要に応じて変更してください。

8. 次にリモートサイトのSMTPサーバーのIPアドレスを入力してください。(IPアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください)
9. Segmented Message Timeoutオプションを確認し、必要に応じて設定を変更してください。プリントジョブが、BIPの分割E-mail機能で電子メールが分割されて送信される場合、プリントサーバーのタイムアウト時間が設定されています。
10. OKボタンを押し、変更を保存しBRAdmin32を終了してください。

プリントサーバー設定にConsoleで行う方法

● 注意

リモートプリントサーバーを設定するために、BRAdmin32またはWeb Browserを使用する場合は、この章は飛ばしてください。

BRAdmin32/Webブラウザの代わりにリモートコンソールを使用してプリントサーバーを設定することが可能です。リモートコンソールへはTELNETでアクセスできます。TELNETの使用についての詳細はAppendixを参照してください。プリントサーバーにアクセスする際、パスワードが必要です。デフォルトパスワードは 'access' です。

1. コンソールに接続後、'Local>' プロンプトが表示されたら後、以下のコマンドを入力します。

```
SET POP3 ADDRESS ipaddress
```

IpaddressにはリモートサイトのPOP3サーバーのIPアドレスを入れてください。(IPアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。)

2. 次に、以下のコマンドを入力します。

```
SET POP3 NAME mailboxname  
SET POP3 PASSWORD emailpassword
```

mailboxnameにはプリントサーバーのメールアカウント名を、emailpasswordにはそのパスワードを入力してください。

3. プリントサーバーは、30秒ごとにPOP3サーバーに接続するように設定されていますので、必要であれば、下記コマンドを入力して変更してください。

```
SET POP3 POLLING rate
```

rateには接続間隔(秒)を入力してください。

Consoleを終了するにはEXITをタイプし、変更を保存してください。これで設定完了です。

Windows95/98/Me/NT4.0/2000へのBIPソフトウェアのインストール方法

Windows95/98/Me/NT4.0/2000クライアントへのBIPソフトウェアのインストールは下記手順にしたがってください。

▶ **注意**

PC上にメールを送信できるメールソフトがインストールされ、動作できる環境にあることを確認してください。
メールサーバーがインターネットにメール送信できる環境にあるかを確認してください。

1. クイックセットアップガイドにしたがって、CD-ROMのインストールメニュープログラムをスタートさせてください。
2. 該当するモデルとソフトウェアインストールメニューを選択してください。メニューを選択して、ブラザーネットワークプリントソフトウェアインストールプログラムを起動します。
3. ‘次へ’をクリックします。
4. ‘ブラザーインターネットプリント’を選択します。
5. インストールするディレクトリを選択し、‘次へ’をクリックします。インストールプログラムがディレクトリを作成します。
6. 次にポート名を入力します。ポート名は必ずBIPで始まり、末尾を数字にしてください。(例：BIP1)
7. ポート名を入力後、分割メールについてのメッセージが現れます。分割メールプリントとは、メールサーバーに容量制限がある場合、自動的にメールが分割されて送信され、プリンタ側で再度一つのファイルにして印字する、ブラザーインターネットプリントソフトウェアの機能です。

8. 'OK' をクリックします。
9. リモートプリントサーバー（宛て先）に対するポート設定の入力します。

リモートプリントサーバーの、インターネットメールアドレスを入力してください(例：emailprinter@xyz.com)。このインターネットメールアドレスにはスペースを含めないで下さい。
10. OKボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。
11. コンピュータを再起動後、Windows95/98/Me/NT4.0/2000のプリンタセットアップ手順でプリンタの設定をします。
12. 'プリンタの追加' を選択しプリンタインストールを始めます。
13. プリンタウィザード画面(Windows95/98/Meのみ)が表示されたら'次へ' をクリックします。
14. 'ローカルプリンタ' (Windows95/98/Me)あるいは'マイコンピュータ' (WindowsNT4.0/2000)を選択し、“次へ” をクリックします。

<Windows95/98/Me ユーザー>

15. プリンタを選択します。必要に応じて、'ディスク使用' をクリックしてCD-ROMからプリンタドライバをインストールしてください。プリンタドライバインストール後、'次へ' をクリックしてください。
16. 既にインストール済みのプリンタドライバを選択した場合は、'既存のドライバ(推奨)' を選択してください。希望のオプションを選択後、'次へ' をクリックします。
17. 'ブラザーインターネットポート(BIP...)' を選択し、'次へ' をクリックします。

<WindowsNT4.0/2000 ユーザー>

15. 'ブラザーインターネットポート(BIP...)' を選択し、'次へ' をクリックします。
16. プリンタを選択します。必要に応じて、'ディスク使用' をクリックしてCD-ROMからプリンタドライバをインストールしてください。プリンタドライバインストール後、'次へ' をクリックしてください。
17. プリンタ名を入力し、'次へ' をクリックします。尚、このプリンタ名はstep6で割り当てたポート名またはstep9でつけた電子メールアドレス等と一致しなくても構いません。
18. まだプリントサーバーにBIPの設定をしていなければ、テストページを印字せずに終了してください。

これで、BIPソフトウェアのインストールが完了しました。別のリモートプリントサーバーの設定が必要な場合は、2つ目のブラザーインターネットポートを追加してください。

2つ目のBrother Internet Portを追加する

新たにブラザーインターネットポートを追加する際には、再度BIPソフトウェア-をインストールする必要はありません。スタートメニューの‘設定’から‘プリンタ’を選択します。BIP設定を行いたいプリンタのアイコンをダブルクリックし、Fileメニューから“プロパティ”を選択します。‘詳細’ (WindowsNT/2000は‘ポート’)タブをクリックし‘ポートの追加’をクリックしてください。

‘ポートの追加’ダイアログで、‘その他’ (Windows95/98/Me)または‘新しいポート’ (WindowsNT/2000) を選択し、‘ブラザーインターネットポート’を選びます。‘OK’をクリックし、新しいポート名を設定してください。

第5章

ノベルNetware IPX/SPXを使って印刷をする 設定方法

ブラザープリントサーバーはNetWareクライアントPCからもTCP/IP, Apple Talkユーザーと同様にプリンタを共有することを可能とします。

概要

NetWareネットワーク上でブラザープリントサーバーを使用するためには、プリントキューを置くためのファイルサーバーが必要です。ユーザーがプリントジョブを送信すると一旦そのプリントキューにスプールされ、その後あらかじめ設定されたブラザープリントサーバーがそのジョブを取得して印刷を行います。（リモートプリンタモードの場合は、Netwareサーバー上で動作しているプリントサーバーにジョブがスプールされ、その後リモートプリンタに送信されます。）

管理者は、Netwareサーバーに付属のユーティリティーか、本プリントサーバーに付属のユーティリティーを使用してバインダリまたはNDSキューを作成することができます。

● 注意

本プリントサーバー付属のユーティリティーBRAdmin32でNetwareサーバー上にキューを設定する場合は、BRAdmin32を使用するPCにノベル Netwareクライアントソフトウェアがインストールされている必要があります。なお、BRAdmin32はWindows95/98/Me/NT4.0上でのみ使用可能です。

ご使用の環境でBRAdmin32を使用できない場合、Netware NWAdminまたはPCONSOLEユーティリティーを使用してキューを作成できます。この場合、この章の後半で説明しますが、BRCONFIG, TELNETまたはWWWブラウザを使用してプリントサーバーの設定も必要になります。

● 注意

ブラザープリントサーバーは16ファイルサーバーと32キューまでサポート可能です。

BRAdmin32を使ってプリントキューを作成する

BRAdmin32はNetware PCONSOLE（またはNetware4.1x以降のNW Admin）のプリントキュー操作機能と同様の機能を持つWindows用のアプリケーションです。NetWareネットワーク上でプリントサーバーの設定のためにBRAdmin32を使う場合は、SUPERVISOR（NetWare 2.xxまたは3.xx）またはADMIN（Netware4.1x以降）権限でネットワークにログインしていることを確認の上、以下の手順を行って下さい。

BRAdmin32を使って プリントサーバーを設定する (バインダリ・キューサーバーモード)

1. SUPERVISOR（NetWare 2.xxまたは3.xx）またはADMIN（Netware4.1x以降）でログインしていることを確認します。
2. BRAdmin32を起動します。
3. 一つ、またはそれ以上のプリントサーバー名がリストに表示されます。（イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトのノード名はBRN_xxxxxxとなります）

▶ **注意**

プリントサーバーの設定情報ページを印刷してノード名とイーサネットアドレスを確認することができます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

4. 設定したいプリントサーバーを選択し、ダブルクリックします。デフォルトパスワードは“ access ”です。
5. ダイアログのNetwareのタブを選択します。

► 注意

必要に応じて、“プリントサーバー名”を変更することが可能です。デフォルトNetwareプリントサーバー名はBRN_XXXXXX_P1です。(XXXXXXはイーサネットアドレスの下位6桁)。なお、プリントサーバー名を変更した場合は、同じサービス名を使用する他のプロトコルの設定に影響がある場合がありますので注意してください。

- a 動作モードのキューサーバーが選択されていない場合は、選択してください。
 - b バインダリキューの変更をクリックします。
 - c 設定したいNetwareサーバーを選択します。
 - d 作成を選択し、作成したいキュー名を入力します。
 - e 作成したキュー名を選択して追加のボタンをクリックします。
 - f 閉じるをクリックして、OKを押します。
6. BRAdmin32を終了します。

BRAdmin32を使ってプリントサーバーを設定する (NDS・キューサーバーモード)

1. NDSツリーにADMINでログインしていることを確認します。
2. BRAdmin32を起動します。
3. プリントサーバーがリストに表示されます。(イーサネットアドレスの下位6桁がxxxxxxの場合、ノード名はBRN_xxxxxxです。)

▶ 注意

プリントサーバーの設定情報ページを印刷してノード名とイーサネットアドレスを確認することができます。設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

4. 設定したいプリントサーバーを選択し、ダブルクリックします。デフォルトパスワードは“access”です。
5. ダイアログのNetwareのタブを選択します。

▶ 注意

必要に応じて、“プリントサーバー名”を変更することが可能です。デフォルトNetwareプリントサーバー名はBRN_xxxxxx_P1です。(xxxxxxはイーサネットアドレスの下位6桁) なお、プリントサーバー名を変更した場合は、同じサービス名を使用する他のプロトコルの設定に影響がある場合がありますので注意してください。

- a 動作モードのキューサーバーが選択されていない場合は、選択してください。
- b オブジェクトを作成するNDSツリーとNDSコンテキストを選択します。
(マニュアルで入力するか、NDSツリーの下矢印をクリックするか、NDSコンテキストで変更ボタンをクリックすると、BRAdmin32がブラウズした結果を表示することができます。設定した後、NDSキューの変更をクリックしてください。
- c Netwareプリントキュー画面でコンテキストを選択し、作成をクリックします。
- d 作成したいキュー名を入力し、そのキューの実体を置くサーバーボリュームを設定します。ボリューム名が分からない場合は、参照ボタンを押して選択することもできます。ボリューム名を指定し、OKを押します。
- e 設定したキュー名がコンテキスト上に表示されますので、そのキューを選択し、追加をクリックします。キュー名がサービス中のキュー画面に表示されます。
- f 閉じるをクリックし、OKボタンを押します。

BRAdmin32を終了します。

ノベルNWADMINとBRAdmin32を使ってプリントサーバーの設定をする (NDS・キューサーバーモード)

1. Netware4.1x(またはそれ以降)上のNDSツリーにADMINでログインしていることを確認し、NWADMINを起動します。
2. プリンターオブジェクトを作成するコンテキストを選択し、メニューからオブジェクトの作成を選択します。オブジェクトクラスで、プリンタを選択し、OKを押します。
3. プリンタ名を入力して、作成をクリックします。
4. プリントキューオブジェクトを作成するコンテキストを選択し、メニューからオブジェクトの作成をクリックします。
5. オブジェクトクラスでプリントキューを選択し、OKを押します。ディレクトリサービスキューが選択されているか確認し、プリントキューに名前を入力します。
6. プリントキューボリュームをブラウズするボタンをクリックします。必要に応じてコンテキストを変更し、使用可能なオブジェクトからプリントキューの実体を置くボリュームを選択してOKをクリックします。
7. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順3で作成したプリンタオブジェクトをダブルクリックします。
8. 割り当てをクリックし、追加をクリックします。
9. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順5で作成したプリントキューオブジェクトをダブルクリックします。
10. 環境設定をクリックし、その他/不明にプリンタのタイプを設定します。OKをクリックして設定ダイアログを終了します。

11. 必要に応じてコンテキストを変更し、メニューからオブジェクトの作成を選択します。オブジェクトクラスでプリントサーバーを選択し、OKをクリックします。
12. プリントサーバー名を入力し、作成をクリックします。

▶ 注意

BRAdmin32のNetwareタブに表示されている通りのNetwareサーバー名を入力します。(サービス名を変更していなければBRN_xxxxxx_P1がデフォルトサービス名です。)設定情報ページを印刷することで現在のサービス名とイーサネットアドレスを確認できます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

重要:

プリントサーバーオブジェクトのパスワードの設定はしないで下さい。

13. プリントサーバーオブジェクトをダブルクリックし、割り当てをクリックして、追加を選択します
14. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順3で作成したプリンターオブジェクトを選び、'OK'をクリックして設定ダイアログを終了します。
15. NWADMINを終了します。
16. BRAdmin32を起動して、リストから設定したいプリントサーバーを選択します。
(イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトノード名はBRN_xxxxxxです。)
17. 設定したいブラザープリントサーバーをダブルクリックします。デフォルトパスワードは“access”です。NetWareタブを選択します。
18. 操作モードとして、キューサーバーを選択します。

▶ 注意

同一のプリントサーバーに対して、キューサーバーモードとリモートモードの両方を同時に使用することはできません。

19. NDSツリー名を入力します。(NDSとバインダリの両方のキューを同時にサポート可能です。)
20. プリントサーバーが登録されているコンテキストを指定します。
21. 変更を保存してBRAdmin32を終了します。

ノベルNWADMINとBRAdmin32を使ってプリントサーバーの設定をする (NDS・リモートプリンタモード)

NWADMIN (NetWareアドミニストレータユーティリティー) とBRAdmin32でリモートプリンタモードの設定を行うには、以下の手順に従ってください。

1. PSERVER NLM (NetWareロードブルモジュール) がファイルサーバー上で動作しているかを確認し、そのNDSツリーにのADMIN権限でログインしていることを確認してください。
2. NWADMINを起動します。新しいプリンターオブジェクトを置くコンテキストを選択します。
3. メニューからオブジェクトの '作成' を選択します。オブジェクトクラスでプリンタを選択します。
4. プリンタ名を入力し、'作成' をクリックします。
5. 必要に応じてコンテキスト を変更し、PSERVER NLM.のプリントサーバーオブジェクト名をダブルクリックします。'割り当て' をクリックし、'追加' を選択します。
6. 必要に応じてコンテキスト を変更し、手順4、で作成したプリンタを選択し、'OK' をクリックします。後で利用するため、プリンタ番号をメモし 'OK' をクリックします。
7. プリントキューオブジェクトを置くコンテキストを選択し、メニューのオブジェクトの '作成' をクリックします。
8. オブジェクトクラスで 'プリントキュー' を選択し、'OK' をクリックします。'ディレクトリサービスキュー' が選択されているのを確認し、プリントキュー名を入力します。
9. プリントキューの実体を置くNetwareボリュームを選択するボタンをクリックします。必要に応じてコンテキストを変更し、希望すボリューム (オブジェクト) を選択し、'OK' をクリックします。キューを作成するために '作成' をクリックします。
10. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順4、で作成したプリンターオブジェクトをダブルクリックします。

11. ‘割り当て’をクリックして、‘追加’を選択します。
12. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順9、で作成したプリントキューを選択します。OKをクリックして、NWADMINを終了します。
13. BRAdmin32を起動し、設定したいプリントサーバーを選択します。(イーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトノード名はBRN_xxxxxxです。)

● 注意

設定情報ページを印刷するとプリントサーバー名及びイーサネットアドレスを確認することができます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

14. 設定したいプリントサーバーをダブルクリックします。デフォルトパスワードは“access”です。
15. ‘ダイアログ’のNetwareタブを選択します。
16. 動作モードとしてリモートプリンタを選択し、プリントサーバー名としてPSERVER NLMの名前を選択し、プリンタ番号として手順6でメモしたプリンタの番号を指定します。

● 注意

同一のプリントサーバーに対して、キューサーバーモードとリモートモードの両方を同時に使用することはできません。

17. OKをクリックし、BRAdmin32を終了します。

NetWareファイルサーバーからPSERVER NLMをアンロードし、設定を有効にするために再度ロードしてください。

BRAdmin32またはノベルNWADMINを使用する方法とは別に、付属のDOSユーティリティーBRCONFIGとNetware付属のPCONSOLEユーティリティーを使用することもできます。BRCONFIGはBRAdmin32をインストールすると同時にインストールされ、BRCONFIGは“スタート¥プログラム¥Brother BRAdmin32 utilities”から起動することができます。また、“Brother Print Server Configuration utility”ディスクがあれば、そこから直接起動することもできます。なお、BRCONFIGの代わりにWWWブラウザやTELNET コンソールを使用することも出来ます。

PCONSOLE と BRCONFIG を使ってプリントサーバーを設定する (バインダリ・キューサーバーモード)

1. Supervisor (NetWare 3.xx) が ADMIN (NetWare 4.1x以降) 権限でログインする。
2. ウィンドウズメニューから BRCONFIG を実行するかドライブ A に Print Server Configuration Utility ディスクを入れ、DOS プロンプトに以下のように入力する。
A:BRCONFIG か A:BRCONFIG プリントサーバー名

プリントサーバー名は、BRN_XXXXXX_P1 (XXXXXX は、イーサネットアドレス の下 6 桁)

●注意
プリンタ設定情報ページを印刷することで現在のサービス名とイーサネットアドレスが分かります。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

3. BRCONFIG コマンドにプリントサーバーの名前を指定していない場合は、プリントサーバーのリストが表示されますので、その番号を指定してください。
4. プリントサーバーが接続されたというメッセージが出たら、“ ” プロンプトでパスワードを入力します (デフォルトでは “ access ” です)。続いて、Enter Username > プロンプトで Enter キーを押します。
5. ローカル > プロンプトが出たら、次のように入力します。

SET NETWARE SERVER servername ENABLED <Enter>
6. Servername はプリントキューの実体を置くファイルサーバーの名前です。もし、プリントキューを複数のファイルサーバーに設定した場合は、必要なだけこのコマンドを繰り返します。
7. BRCONFIG を終了するために EXIT <Enter> と入力して変更を保存・終了し、続いてノベル PCONSOLE ユーティリティを起動します。 NetWare 4.1x の NDS にログインして、PCONSOLE ユーティリティを使用している場合は、PC の F4 キーを操作してバインダリの設定モードに切り替えてください。
8. 利用可能な項目メニューからプリントサーバー情報 (NetWare 3.xx) がプリントサーバー (NetWare 4.1x) を選択します。

9. 現在のプリントサーバーのリストが表示されます。新しいプリントサーバーを作成するためにINSERTキーを押し、プリントサーバー名を入力します。(プリントサーバーのイーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトではBRN_xxxxxx_P1です。)そして、ENTERを押し、ESCAPEを押して利用可能な項目の画面に戻ります。
10. 設定されたプリントキューのリストを見るためにプリントキュー 情報(NetWare 3.xx)かプリントキュー(NetWare4.1x)を選択する。
11. ファイルサーバーに新しいキューを作るためにINSERTを押し、新しいキュー名を入力し、ENTERを押し、名前がプリントサーバー名に関連する必要はありません。
12. 新しいキュー名が選択されていることを確認し、そのキューを設定するためにENTERを押します。
13. キューサーバー(Netware 4.1xでは、プリントサーバーです)を選択し、ENTERを押します。新しいキューの場合は、表示されるリストは空になっています。
14. キューサーバー(プリントサーバー)候補のリストを得るためにINSERTを押し、手順8で設定したプリントサーバー名を選択し、ENTERを押します。
15. ESCAPEを数回押し、利用可能な項目メニューに戻ります。
16. プリントサーバーにプリントキューをスキャンさせるために、以下のいずれかを実行してください。
 - ・ プリンタの電源を一旦切ってから再度電源を投入します。
 - ・ BRCONFIGかTELNETを用いてコンソールコマンドの SET NETWARE RESCANを実行します。

PCONSOLEとBRCONFIGを使ってプリントサーバーを設定する (NDS・キューサーバーモード)

1. NDSツリーにADMIN権限でログインしていることを確認します。
2. PCの動作環境からPCONSOLEを起動します。
3. 利用可能な項目メニューからプリントサーバーを選択します。
4. 新しいプリントサーバーを追加するために、INSERTを押してプリントサーバー名を入力します。

●注意

プリントサーバーの Netwareプリントサービス名を正確に入力します。(プリントサーバーのイーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトではBRN_xxxxxx_P1です。) プリンタ設定情報ページを印刷することで現在のサービス名やイーサネットアドレスを確認することができます。プリントサーバーの設定情報ページを印刷する方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

重要 プリントサーバーオブジェクトのパスワードの設定はしないで下さい。

5. ESCAPEを押して設定可能な項目メニューのメイン画面に戻ります。
6. ‘プリントキュー’を選択します。
7. 新しいプリントキューを作成するためにINSERTを押し、キュー名を入力します。(ボリューム名を聞かれたらINSERTを押して、キューの実体を置く適切なボリュームをリストから選択します。) 前画面に戻るためにESCAPEを押し。
8. 作成したプリントキュー名を選択して、ENTERを押します。
9. ‘プリントサーバー’を選択し、ENTERを押します。新しいキューの場合は、表示されるリストは空になっています。
10. プリントサーバー候補のリストを表示するためにINSERTを押し、手順4で設定したプリントサーバー名を選択し、ENTERを押します。
11. ESCAPEを押して設定可能な項目メニューのメイン画面に戻り、利用可能な項目メニューから‘プリンタ’を選択します。
12. INSERTを押して適切なプリンタ名を入力します。

13. ESCAPEを押して利用可能な項目メニューに戻ります。
14. ‘プリントサーバー’を選択し、手順4で入力したプリントサーバー名を選択します。
15. プrintサーバー情報 で ‘プリンタ’を選択します。
16. INSERTを押し、手順で入力したプリンタ名を選択します。
17. ESCAPEを数回押して、PCONSOLEを終了しDOSに戻ります。
18. WindowsメニューからBRCONFIGを指定するか、PCのドライブAに入っている Brother Print Server Configuration Utilityディスクを挿入して A:BRCONFIGと入力し、BRCONFIGを起動します。
19. プrintサーバーのリストからPrintサーバーを選びます。Printサーバーが接続されたというメッセージが表示されたら、ENTERを押し、“ ”プロンプトに対してパスワードを入力します。デフォルトでは“access”です。続いて、ENTER Username>プロンプトでENTERをもう一度押します。Local>プロンプトが表示されたら以下のようにコマンドを入力します。

```
SET SERVICE service TREE tree
SET SERVICE service CONTEXT context
```

- ・ treeはNDSツリー名です
- ・ contextはPrintサーバーのあるコンテキスト名です
- ・ ServiceはPrintサーバー名のサービス名です。
(Printサーバーのイーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトではBRN_xxxxxx_P1です。)
- ・ TCP/IPプロトコルを使ってTELNETで同様のコマンド操作ができます。またWebブラウザからコマンドコンソールを利用することも可能です。

20. PrintサーバーにPrintキューをスキャンさせるために、以下のいずれかを実行してください。
 - ・ プリンタの電源を一旦切ってから再度電源を投入する。
 - ・ BRCONFIGかTELNETを用いてコンソールコマンドのSET NETWARE RESCANを実行する。

PCONSOLE と BRCONFIG を使ってプリントサーバーを設定する (バインダリまたはNDS ・ リモートプリンタモード)

1. PSERVER NLM(NetWareローダブルモジュール)がNetwareファイルサーバーで動作しているかを確認します。
2. NetWare 2.xxか3.xxをお使いなら、SUPERVISORとして、NetWare4.1xをお使いならADMIN権限でファイルサーバーにログインしてください。(もしNDSのサポートが必要なならNDSツリーにログインしてください)
3. PCの動作環境からPCONSOLEユーティリティーを起動します。
4. もし、新しいプリントキューを作成するために利用可能な項目メニューからプリントキュー情報(NetWare 3.xx)かプリントキュー(NetWare 4.1x)を選択します。
5. INSERTを押し、キュー名を入力します。(NetWare 4.1xでは、ボリューム名を聞かれ聞かれたらINSERTを押し、キューの実体を置く適切なボリュームをリストから選択します。) 前画面に戻るためにESCAPEを押します。

NetWare 4.1x でのNDS・リモートプリンタを設定するには以下の手順を行ってください。

6.
 - a 利用可能な項目メニューからプリントサーバーを選び、Netwareサーバー上で動作しているPSERVER NLMの名称を選択し、ENTERを押します。
 - b メニューからプリンタを選択し、ENTERを押します。
 - c INSERTを押してオブジェクト、クラスメニューを表示します。
 - d INSERTを押してプリンタ名として適切な名前を入力してください。
 - e プリンタ名を選択し、ENTERを2回押して、プリンタの環境設定メニューを表示します。
 - f PCONSOLEはプリンタ番号を表示するるので、後で利用するためにメモして置いてください。
 - g プリントキュー割り当てを選択しENTERを押し、さらにINSERTを押して利用可能なキューのリストを表示させます。
 - h 手順5で追加したプリントキュー名を選択してENTERを押してください。
 - i その他の項目の設定は必要ありません。ESCAPEを数回押してPCONSOLEを終了してください。
 - j リモートプリンタとプリンタ番号の設定の手順へ進んでください。

NetWare 3.x でリモートプリンタを設定するには以下の手順を行ってください。

6.
 - a PCONSOLEメニューから ' プリントサーバー情報 ' を選び、Netwareファイルサーバー上で動作しているPSERVER NLMの名称を選びます。
 - B ' プリントサーバーの設定 ' を選び、' プリンタの設定 ' を選びます。
' 未設定のプリンタ ' を選び、ENTERを押します。後の手順で必要になりますので、このプリンタ番号をメモしておいてください。
 - c 必要ならプリンタの適切な名称を入力してください。
 - d ENTERを押し、' その他/不明 ' を選択して、もう一度ENTERを押します。このメニューではその他の設定は必要ありません。
 - e ESCAPEを押して変更を保存します。
 - f ESCAPEを押して ' サービス中のキュー ' を選択します。
 - g 設定したプリンタ名を選択して、ENTERを押します。
 - h INSERTを押して、使用するプリントキューを選択し、ENTERを押します。
 - i ESCAPEを数回押してPCONSOLEを終了します。

BRCONFIGを使ってリモートプリンタとプリンタ番号を指定する。

7.

- a WindowsメニューからBRCONFIGを指定するか、PCのドライブAに入っているBrother Print Server Configuration Utilityディスクを挿入してA:BRCONFIGと入力し、BRCONFIGを起動します
- b プリントサーバーのリストからプリントサーバーを選びます。プリントサーバーが接続されたというメッセージが表示されたら、ENTERを押し、“ ”プロンプトに対してパスワードを入力します。デフォルトでは“access”です。続いて、ENTER Username>プロンプトでENTERをもう一度押します。Local>プロンプトが表示されたら以下のようにコマンドを入力します。

```
SET NETWARE NPRINTER nlm number ON service
SET NETWARE RESCAN
EXIT
```

- nlmはファイルサーバーのPSEVER NLMの名称です。
- numberはプリンタ番号です。(前の手順でPCONSOLE設定中に選んだプリンタ番号を入力してください)
- Serviceはプリントサーバーのサービス名です。(プリントサーバーのイーサネットアドレスの下6桁がxxxxxxのとき、デフォルトではBRN_xxxxxx_P1です。)

例えば、BROTHER1PSと呼ばれるPSEVER NLMを使用してプリントサーバーBRN_310107_P1が装着されたプリンタに対してプリンタ番号 3をセットアップするためには以下のように入力します：

```
SET NETWARE NPRINTER BROTHER1PS 3 ON BRN_310107_P1
SET NETWARE RESCAN
EXIT
```

- TCP/IPプロトコルを使ってTELNETで同様のコマンド操作ができます。またWebブラウザからコマンドコンソールを利用することも可能です。

● 注意

同一のプリントサーバーに対して、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方を同時に使用することはできません。

8. NetWareファイルサーバーからPSEVER NLMを一旦アンロードし、再度ロードして、以上の設定を有効にします

プリントキューをテストする

Netware のDOS nprintコマンドを使ってキューをテストすることが出来ます。

```
C:> nprint C:%autoexec.bat q= queue_name
```

queue_nameはこの章のはじめに作成したプリントキュー名です。指定されたファイルはプリントサーバーにスプールされ、短時間の間にプリンタで印刷されるはずですが、もしそうでない場合は、設定を再確認し、必要ならトラブルシューティングを参照してください。

動作環境 (DOS ベースのNetWare ドライバ) を設定する

DOSアプリケーションがプリントサーバーに等価的に印刷できるようにするためには (Windows上のNetwareドライバを使用できない場合には、この手順を使います)、テキストエディタを使用してPCのAUTOEXEC.BATに以下のようなコマンドを追加します。

```
Capture 1=n q=キューname ti=timeout
```

- nはプリントキューヘリダイレクトするパラレルポートの番号です。
- queue_nameは作成したキュー名です。(もしNetware4.xでNDSをご使用ならキューの代わりに、p=printernameを指定してプリンタ名を利用することもできます。プリンタのフルコンテキスト名を入力してください)
- Timeoutはアプリケーションが最後のデータをキューに書き込んだ後に、ファイルサーバーがプリンタにデータを送りまでの時間(秒)です。(DOSアプリケーションの場合は最低5秒、Windowsアプリケーションに対しては最低50秒にしてください、場合によっては値を増やす必要があります。)

例えば、もしキューがmyqueueで、タイムアウト5秒でLPT2を使用したいなら、以下のように入力してください。

```
Capture 1=2 q= myqueue ti=5
```

PCを再起動させた後、プリンタが直接LPT2パラレルポートに接続されているようにアプリケーションプログラムから印刷することが出来ます。

- もしプリンタが正しく印刷しない場合は、captureコマンドに /Ntスイッチを追加してみてください。

```
Capture 1=n q=キューname ti=timeout /Nt
```

動作環境 (Windows 95/98/Me) を設定する

Windows95/98/Meの環境からNetWare プリントキューを使用するためには、始めに適切なNetWareプロトコルがインストールされていることを確認します。そしてスタートボタンから‘設定’を選び、プリンタを選択します。‘プリンタの追加’をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードに移動し、以下の手順に従います。

1. ‘次へ’をクリックし、‘ネットワークプリンタ’を選択して、再び‘次へ’をクリックします。
2. ‘検索’を選択し、ウィンドウ画面から適切なNetwareファイルサーバーをダブルクリックします。続いて希望するプリントキューを選択して、‘OK’を押します。そして‘次へ’をクリックしてください。
3. ‘検索’を選択し、ウィンドウ画面から適切なNetwareファイルサーバーをダブルクリックします。続いて希望するプリントキューを選択して、‘OK’を押します。そして‘次へ’をクリックしてください。
4. もし、ドライバが既にあるときは‘現存のドライバを使用’(もしなければこの手順は飛ばす)を選択し、‘次へ’をクリックしてください。
5. 必要なら、プリンタ名を変更するかそのプリンタ名を設定するかして、‘次へ’をクリックしてください。
6. “テストページを印刷しますか？”という問いに対して‘はい’を選択し、‘終了’をクリックします

第6章 Macintosh でのセットアップ

システム条件

USB 接続の場合

コンピュータ USB を標準装備した Power Macintosh

RAM容量 32MB 以上(64MB 以上を推奨)

OS Mac OS 8.5.1, Mac OS 8.6, Mac OS 9.0, Mac OS 9.0.4

AppleTalk 接続の場合

コンピュータ Ethernet を標準装備した Power Macintosh

RAM容量 32MB 以上(64MB 以上を推奨)

OS Mac OS 8.5.1, Mac OS 8.6, Mac OS 9.0, Mac OS 9.0.4

Open Transport 1.3 以上

プリンタドライバのインストール

1. Macintosh を起動した後、「HL-1200 series」の CD-ROM をセットします。
2. 「プリンタドライバのインストーラ」アイコンをダブルクリックします。

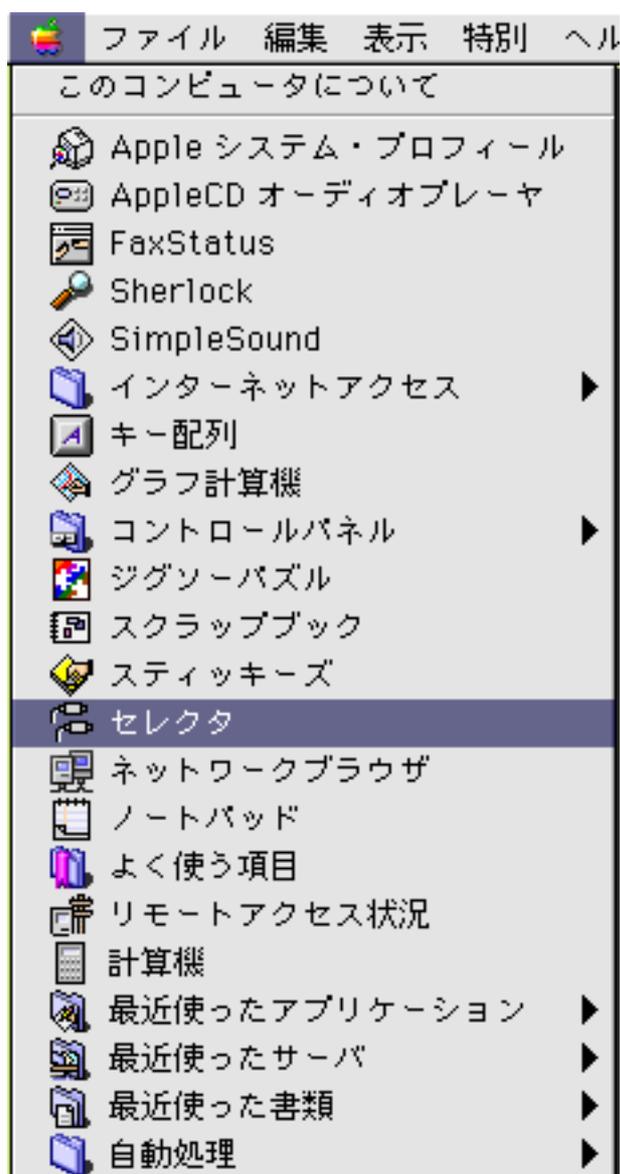


3. インストーラの画面の指示に従って操作します。

プリンタドライバの選択

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順でプリンタドライバを選択します。プリンタドライバを選択しないとアプリケーションソフトウェアから印刷することができません。

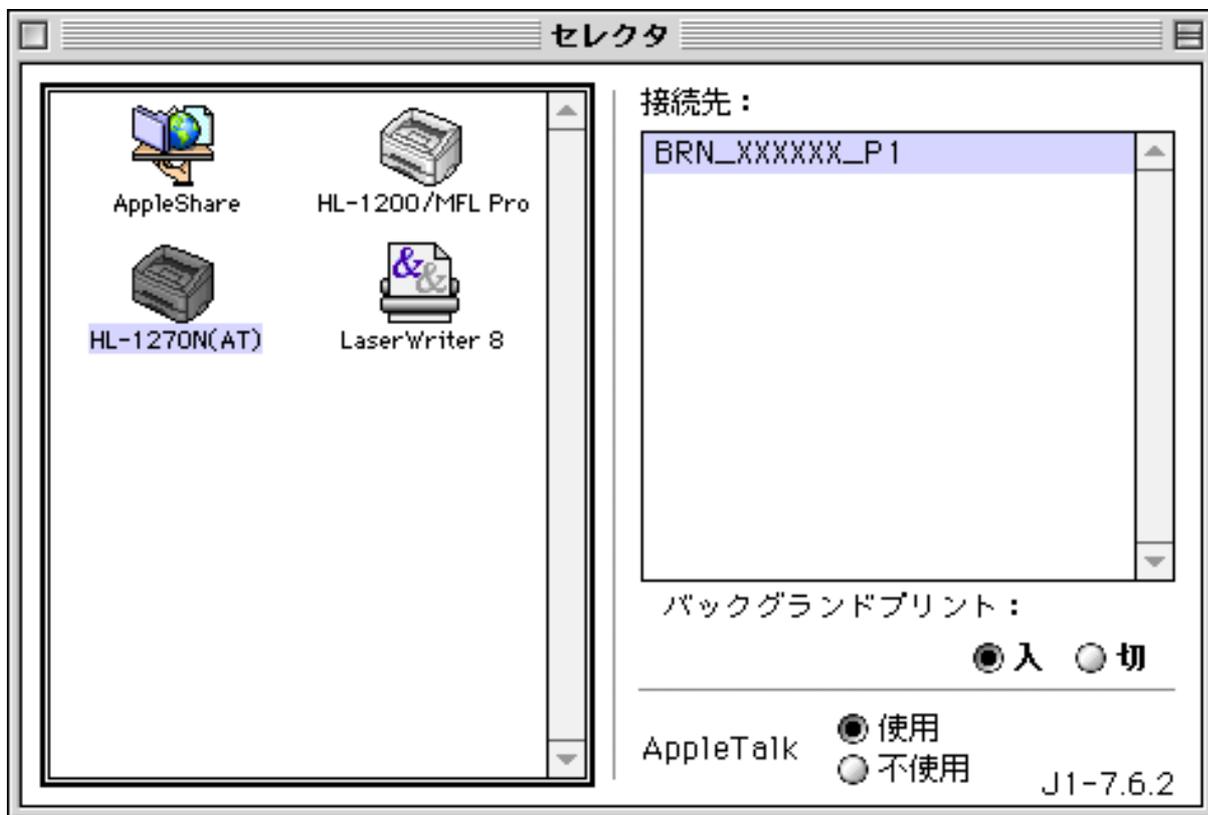
1. プリンタの電源をオンします。
2. Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクトをクリックして開きます。



3. 接続の形態にあわせ、プリンタドライバのアイコンをクリックします。

USB 接続の場合 HL-1200/MFL Pro

AppleTalk 接続の場合 HL-1270N(AT)



4. プリンタの接続先を選択します。

AppleTalk 接続の場合、プリンタの AppleTalk サービス名 (工場出荷値は BRN_XXXXXX_P1、XXXXXX は Ethernet(MAC アドレス)の末尾 6 桁) が接続先リストボックスに表示されます。

◆ **注意**

コンフィギュレーションページを印刷するとMACアドレスを確認できます。コンフィギュレーションページの印刷方法についてはクイックセットアップガイドを参照してください。

5. ダイアログ左上のクローズボックスをクリックして設定を終了します。

第7章 トラブルシューティング

概要

この章では、ブラザープリントサーバーをお使い頂く上で発生する可能性のある問題について、その対処例を挙げています。
状況に応じて大きく以下のように分類されています。

1. インストールの際の問題
2. プロトコルの詳細に関する対処法
3. その他、印刷上の問題

この他の情報については、<http://www.brother.co.jp/> をご覧ください。

インストールの際の問題

ネットワーク上で印字できない場合は、下記の項目を確認してください。

1. プリンタの電源が入っているか、また印字の準備ができているか。

プリンタで設定情報ページの印刷が、おこなえる事を確認してください。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法についてはクイックセットアップガイドをご参照ください。

- a. プリンタフロントパネルのアラームLEDがONまたは点滅しているか、後部のUTP(イーサネット)コネクタの近くにあるオレンジ色(F)LEDが点滅している、といった場合はネットワークファームウェアの異常か、その設定に不具合がある可能性があります。
 - b. この場合は、プリンタのバックパネルにあるTESTスイッチを5秒以上押し、プリントサーバーを初期設定に戻してみてください。その後、プリンタの電源を切り、再度入れて設定情報ページの印刷を試してください。
2. 設定情報ページは印字できるが通常の文書が印字できない場合、下記の方法を試してください。

 **注意**

下記の方法でも不具合が解消できない場合は、ハードウェアまたはネットワーク自体の問題の可能性があります！

a. TCP/IPをお使いの場合：

pingコマンドを使用してホストオペレーティングシステムプロンプトからプリントサーバーにPingしてみてください。

(例) > ping IPAddress

IPAddressはプリントサーバーのIPアドレスです。(電源投入後または、IPアドレス設定後にプリントサーバーでそのIPアドレスを利用できるようになるまでに2分程度かかる場合があります。)

プリントサーバーから応答が返ってきたら、少なくともIP通信はできていることとなりますので、使用中のシステム環境に応じて後述のTCP/IP、WindowsNT、Windows95/98/Me Peer to Peer (LPR)、インターネットプリンティングのトラブルシューティングの項に従ってください。あるいは、下記ステップ3にしたがってTCP/IPのトラブルシューティングの項に進んでください。

b. Novellシステムをお使いの場合：

プリントサーバーがNetwareネットワーク上で見ることができるかを確認してください。そのためには、SUPERVISORまたはADMIN (Netware4以降のサーバーの場合)でログインし、PCONSOLEの中に入ります。メインメニューでプリントサーバーを選択し、該当するプリントサーバー名を選択してください。(事前にプリントサーバーが登録されていないといけません。) そのメニューで情報およびステータスを選択し、ステータスが稼動中であればプリントサーバーはネットワーク上で稼動中であると分かります。続いてノベルNetwareのトラブルシューティングの項に進んでください。あるいは、下記ステップ3に進んでください。

c. Apple MacintoshでAppleTalkをお使いの場合：

セレクトタでLaserWriter8アイコンを選択して、該当するプリントサーバーが見えることを確認してください。見えれば、接続は正常にされていますので、AppleTalkのトラブルシューティングの項に進んでください。そうでない場合は、ステップ3にお進みください。

3. ステップ2での接続がどれもうまくできない場合は、下記に従ってください：

- a. プリンタの電源が入っていてオンラインになっているか確認してください。
- b. ケーブル接続、ネットワーク接続、HUB／トランシーバ(使用されている場合)が良好な事を確認してください。可能であれば、ネットワーク上の別のHUB／トランシーバポートへの接続を試してみてください。そして、設定情報ページのNetwork STATISTICS informationで送受信パケットの状態が変化しているかを確認してください。
- c. LEDの状態を確認してください。

プリントサーバーには3つのLEDがあります。

- L-LED(緑色) : Link activity
このLEDは、ネットワークに正常に接続されている場合は、点灯します(10BaseT、100BaseTXどちらでも)。ネットワークが見つからないと消灯します。
 - F-LED (オレンジ色) : Fast Ethernet
このLEDはプリントサーバーが100BaseTXに接続されている場合に点灯します。10BaseTに接続されている時は、消灯します。
 - A-LED(緑色) : Transmission Activity
このLEDは送信ステータスに同期して点灯します。
4. 一部の旧式のHUBをお使いの場合は、SQE (heartbeat)がOFFされていることを確認してください。また、HUBをお持ちの場合は、他のポートでプリントサーバーが使用できるかどうかを確認してください。
 5. プrintサーバーとホストコンピュータの間にブリッジやルータがある場合は、プリントサーバがホストからのデータの送受信ができるようセットされているかどうかを確認してください。例えば、ブリッジは特定のイーサネットアドレスからのデータしか受け付けられないように設定することが可能ですし(フィルタ機能)、同様に、ルータは特定のアドレスからのパケットのみを通すようにすることや特定のトランスポートプロトコルのみを通過できるように設定できます。この場合は、そのプリントサーバーのアドレスや使用するプロトコルが利用できるように設定されていないといけません。

以下は、各プロトコル環境に応じたトラブルシューティングです。 お使いのシステムやプロトコルに応じて、該当する項を参照してください。

TCP/IPトラブルシューティング

TCP/IPをお使いで、前述の確認項目に問題がなかったにも関わらず、ネットワークから印字ができない場合には、さらに下記の項目を確認してください。



Note

設定ミスや初期化ミスの場合は、以下のテストを試みることで問題解決につながる場合もあります。

- 一旦プリンタの電源を一度切り、再度入れる。
- システムの設定でプリントサーバーを一度削除し、再度作成する。さらに新しいプリントキューを作成する。

1. IPアドレスの不適合あるいは重複の可能性があります。IPアドレスがプリントサーバーに正しく設定されているかを設定情報ページ等により確認してください。また、ネットワーク上で他のノードがこのアドレスを使用していないことを確認してください。これを確認するには、プリントサーバーの電源を切った状態で、pingコマンドでそのIPアドレスにアクセスし、応答がないことを確認する方法が簡単です。
2. IPアドレスの入力にBRCONFIGやTELNETコンソールを使った場合は、CTRL-DまたはEXITで正しくコンソールを終了する必要があります。またプリンタの電源を切って再度入れて、確認してください。(通信可能になるまでに2分ほどかかる場合があります。)
3. プrintサーバーのTCP/IPプロトコルが有効になっているかを確認してください。
4. IPアドレスの取得にUnixのrarpを使用した設定情報ページで正常なIPアドレスが表示されない場合、`rarp`、`rarpd-a`あるいは同等のコマンドを使って、ワークステーションでrarpデーモンが稼働しているか、そして、`/etc/ethers`ファイルでプリントサーバーの正しいイーサネットアドレスとホスト名が設定されていることを確認してください。プリントサーバーのホスト名は`/etc/hosts`ファイル中の名前と一致している必要があります。
5. IPアドレスの取得にUnixのbootpを使用した設定情報ページで正常なIPアドレスが表示されない場合、ワークステーションでbootpデーモンが稼働しているか、`/etc/bootptab`ファイルでbootpが有効になっているを確認してください。(‘#’がbootp入力から削除されている事)
6. ホストコンピュータとプリントサーバーどちらも、同じネットワークセグメント上にある事を確認してください。そうでない場合は、両者のルータ/ゲートウェイ設定が正しく設定されているかを確認してください。

WindowsNT/2000 (TCP/IP) トラブルシューティング

WindowsNT/2000をお使いの際のトラブルについては、下記の項目を確認してください。

1. WindowsNTあるいはLANサーバー上にTCP/IPプロトコルスタックとTCP/IPプリントサービスがインストールされていて、正しく設定されていることを確認してください。
2. DHCPを使って動的にプリントサーバーのIPアドレスを設定している場合には、プリントサービスソフトウェアのプリントサーバーのアドレスを指定する欄にプリントサーバーのNetBIOS名が正しく入力されているか確認してください。NetBIOS名は、ノード名の先頭15文字と同一であり、設定情報ページで確認できます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法についてはクイックセットアップガイドをご参照ください。

Windows 95/98/Me Peer to Peer 印刷(LPR) トラブルシューティング

Windows95/98/Me(以降)でPeer-to-Peerネットワーク印刷(LPR)をお使いの際のトラブルについては、下記の項目を確認してください。

1. ブラザーBLPポートドライバが、Windows95/98/Me Peer-to-Peer印刷の章にしたがって、正しくインストールされ、設定されていることを確認してください。
2. DHCPを使って動的にプリントサーバーのIPアドレスを設定している場合には、BLPポートドライバのプロパティでプリントサーバーを指定する場合にはIPアドレスではなく、名前で指定してください。ここでいう名前はNetBIOS名であり、ノード名の先頭15文字と同一です。ノード名やNetBIOS名は設定情報ページで確認できます。プリントサーバーの設定情報ページの印刷方法についてはクイックセットアップガイドをご参照ください。
3. 印刷時に、頻繁にタイムアウトエラーが表示される場合は、BLPポートドライバのプロパティでタイムアウト設定値を増加してみてください。

Windows95/98/Me/NT4.0/2000 Peer-to-Peer印刷 (NetBIOS) トラブルシューティング

Windows95/98/Me/NT4.0(以降)でPeer-to-Peerネットワーク(NetBIOS)をお使いの際のトラブルについては、下記の項目を確認してください。

1. プリントサーバーが、ネットワークコンピュータ上に現れない場合がありますが、あらわれるためには、以下の条件が必要です。
 - ネットワーク上にプリントサーバーと同一のワークグループ/ドメインが存在しなければなりません。(プリントサーバーのデフォルトのワークグループ/ドメイン名はWORKGROUPとなっています。)
 - そのワークグループ/ドメインにブラウズマスターが存在しなければなりません。通常そのドメインを管理しているNTサーバーがあれば、それがブラウズマスターになります。Windows95/98/MeクライアントやNTワークステーションのみの場合は、それらのいずれかがブラウズマスターになり得ますが、それらがプリントサーバーと同一のワークグループに設定されていないといけません。

尚、ネットワークコンピュータ上にプリントサーバーが表示されるのに数分以上かかる場合があります。また、もし前記の条件を満足していないようであれば、ネットワークコンピュータの検索機能を起動し、プリントサーバーを NetBIOS 名で直接検索することもできます。

インターネット印刷（TCP/IP） トラブルシューティング

1. 最初に、インターネット印刷を行うPCとプリントサーバーの間で、問題なく電子メールがやり取りできる環境が整っているかの確認が必要です。まずローカルサイトのPCからプリントサーバーのあるリモートサイトのユーザーへ電子メールを送信して、そのサイトで電子メールを受信できることを確認してみてください。ローカルサイトのPCから送信できない場合は、ローカルサイトの電子メールサーバー（SMTPサーバー）に対するPC側の設定に不備があると考えられます。送信が正常に行われ、リモートサイト側のPCでその電子メールを受信できた場合には、電子メールサーバー（POP3サーバー）に対するプリントサーバーの設定に問題があると考えられます。ローカルサイトのPCとリモートサイトのプリントサーバーで設定した各電子メールサーバーに関する設定に問題がないか再確認してください。
2. 小さいファイルは印字できるが大きなファイルだと問題が起こる場合は、電子メールシステムに問題がある可能性が高くなります。電子メールシステムによっては、サイズの大きなデータを添付した電子メールで不具合があるものがあります。
3. 電子メールシステムによっては、管理者があるサイズ以上の電子メールを受け付けないように設定している場合があります。その場合は、ブラザーインターネットプリントポートドライバの分割メール機能を使用してください。ポートドライバのプロパティ設定で設定可能です。

ノベル NetWare トラブルシューティング

Netwareをお使いで、前述の確認項目に問題がなかったにも関わらず、ネットワークから印字ができない場合には、まずブラザープリントサーバーがPCONSOLEに行きPRINT QUEUE INFORMATIONを選択ののち、CURRENTLY ATTACHED SERVERSを選ぶ、といったサーバーqueueに貼り付けられているかを確認してください。貼り付けたサーバーリストにプリントサーバーが現れない場合は、下記項目を確認してください。

注意

設定ミスや初期化ミスの場合は、以下のテストをしてみることで問題解決につながる場合もあります。

- 一旦プリンタの電源を一度切り、再度入れる。
- システムの設定でプリントサーバーを一度削除し、再度作成する。さらに新しいプリントキューを作成する。

1. Netwareログインパスワードを変更した場合は、プリントサーバーのNetwareパスワード設定(BRConfigソフトウェアをご使用の場合は、SET NETWARE PASSWORDコマンドを使います、又はWebブラウザでも変更できます)とNetwareキューサーバー(ファイルサーバー)のNetwareパスワード設定(PCONSOLEのプリントサーバー情報のパスワードの変更を使います)の両方を変更する必要があります。但し、パスワードは設定しないことを推奨します。
2. BRAdmin32の代わりに、PCONSOLEを使ってプリントキューを作成した場合は、SET NETWARE SERVER servername ENABLEDコマンドを使って、少なくとも一つはNetwareのファイルサーバーが利用可能になっていることを確認してください。
3. プrintサーバーモードで使用している場合は、NetWareユーザーアカウントを消費しますので、ユーザー数制限を越えていないかを確認してください。
4. PCONSOLEやNWAdminで設定したプリントサーバー名が、必ずプリントサーバーで設定されている名前(Netwareサービス名)と一致しているかを確認してください。そして使用するプリントキューをキューサーバーとして設定されている事も確認してください。

5. ネットワーク上に、802.3とEthernet IIフレームを使用している異なるファイルサーバーが存在する場合は、プリントサーバーがフレームタイプの認識に失敗して、使用したいファイルサーバーに接続できない可能性があります。その場合は、リモートコンソールのSET NETWARE FRAMEコマンドを使用して、フレームタイプをファイルサーバーに合わせて固定してください。BRAdmin32から、フレームタイプを変更することも可能です。
6. DOS CAPTUREを使用していて、プリントジョブの一部が書けるようなことがある場合は、CAPTUREステートメントのTIMEOUTパラメータで、タイムアウトパラメータを増加してみてください。(Windowsでは少なくとも50秒以上にする必要があります)

AppleTalk トラブルシューティング

MacintoshからAppleTalkで印字しようとしている場合で、前述の確認項目に問題がなかったにも関わらず、ネットワークから印字ができない場合には、下記項目を確認してください。

1. Phase2AppleTalkを使用していること、そしてMacintoshのネットワークコントロールパネルから適切なネットワークインターフェースを選んでいることを確認してください。
2. プリントサーバーのAppleTalkが利用可能になっていることを確認してください。
3. Laser Writer V8. xxあるいはそれ以降のドライバがインストールされていることを確認してください。古いバージョンはPostScriptエラーの原因となります。また、セレクトタの設定ボタンからプリンタ情報を選んだ時、正しいプリンタ情報取得できることを確認してください。
4. セレクトタから正しいPrinter Description File(PPD)を選んであることを確認してください。 PPDファイルは、プリンタに付属しています。間違えて選択された場合は、PostScriptエラーが生じる可能性があります。
5. セレクトタで正しいAppleTalkゾーンを選んでいるかを確認してください。デフォルトではプリントサーバーはルータからカレントゾーン情報を取り込むため、ゾーン指定が間違っていると表示されません。この場合は、BRAdmin32あるいは、付録Aに記載されているSET APPLETALK ZONEコマンドを使ってプリントサーバーに固定ゾーン名を付ける必要があります。

その他、印刷上の問題

プリントサーバーとプリンタのセットアップは問題ないが、実際の印字の際に問題が起こる場合は、下記の項目を確認してください。

1. 小さなジョブは問題ないが、大きな画像ジョブなどで正常に印字されない場合は、プリンタのメモリが十分か、またコンピュータに最新のプリンタドライバがインストールされているかを確認してください。最新のブラザープリンタドライバは<http://www.brother.co.jp/>からダウンロードできます。
2. その他の問題については、プリンタ本体の取扱説明書のトラブルシューティングも参照してください。

付録

付録 A

コマンドについて

プリントサーバーの設定を変更するには以下の方法のどれかを使用して行ってください。

- BRAdmin32 utility (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000) 用
- TELNET (コマンドコンソール)
- BRCONFIG ユーティリティ(コマンドコンソール)

BRAdmin32 BRAdmin32はTCP/IPまたはIPX/SPXプロトコルを使用してプリントサーバーおよびプリンタを簡単に管理することができる
Windows95/98/Me/NT4.0/2000専用ユーティリティです。

TELNET UNIX, Windows NTや 他のほとんどのTCP/IPシステム上でTELNETを使用してプリントサーバーに接続し、そのコマンドコンソールでプリントサーバーの設定を変更することができます。プリントサーバーに接続する場合は、TELNET *ipaddress* (*ipaddress*部分には実際のIPアドレスを入力する)と入力します。 接続されたらRETURN/ENTERキーを押すと#プロンプトが表示されますので、パスワードを入力します(デフォルトパスワードは“access”です)。この際パスワードは画面上に表示されません。Enter Username>が表示されたら適当に何か入力しReturn/Enterキーを押して下さい。Local>プロンプトと表示されますので必要なコマンドを入力し作業を開始してください。

BRCONFIG BRCONFIGは、BRAdmin32のインストール時に同時にインストールされるDOSユーティリティです。但しこのユーティリティを使用するには、Netwareサーバーが動作しているNetwareネットワークにログインしている必要があります。このユーティリティを起動するには、WindowsのスタートメニューのプラザーBRAdmin32ユーティリティメニュー以下にあるBRCONFIGを選択するか、またはBRAdmin32のインストール用フロッピーディスクをディスクドライブに挿入し、DOSプロンプトから例えばA:BRCONFIGと入力して起動してください(CD-ROMで供給されている場合は、BRAdmin32のあるディレクトリを指す必要があります)。起動すると、プリントサーバーが一台の場合はすぐにプリントサーバーに接続されますが、複数のプリントサーバーがある場合は、プリントサーバーのリストが表示されますので、目的のプリントサーバーの番号を指定してください。 接続されたら#プロンプトが表示されますので、パスワードを入力します(デフォルトパスワードは“access”です)。この際パスワードは画面上に表示されません。Enter Username>が表示されたら適当に何か入力しReturn/Enterキーを押して下さい。Local>プロンプトと表示されますので必要なコマンドを入力し作業を開始してください。

コマンドコンソール

一般コマンド

CLear FATal

Fatal errorログをクリアします。一部のプリントサーバーではサポートされていません。

CLear POrt *portname* JOB

指定されたポート名に対してプリントサーバーの内部キューにある現在のエントリを削除します。通常のポート名はP 1です。

EXIT/D

プリントサーバーのコマンドコンソールを終了します。

HELP

可能なコマンド情報を表示します。

INitialize

プリントサーバーをリスタートします。

SET DEFAULT

プリントサーバーの設定を工場出荷設定にします。

SET LOAD DIsable

EXIT後にファームウェアのロードをしません。

SET LOAD ENable

EXIT後にファームウェアのロードを開始します。

SET LOAD HOst <name>

ファームウェアをロードするNetwareサーバー名を指定します。

SET LOAD IP aa.bb.cc.dd

ファームウェアをロードするTFTPサーバーのIPアドレスを指定します。

SET LOAD SOftware <filename>

ロードするファームウェアのファイル名を設定します。

SET PAssword <password>

コンソールのログインパスワードを設定します。(デフォルトパスワードは“ access ”です)

SET PROtect <password>

SETコマンドでアクセスすることを禁止します。(UNPROTECTコマンドによって禁止を解除します)。一部のプリントサーバーではサポートしていません。

SET SERVEr Name <name>

プリントサーバーのノード名を設定します。

SET SERVEr DEscription

SHOW SERVERコマンドで表示される説明文を設定します。

CLear SERVEr STRing *stringnumber*
Stringnumberで指定されたサーバストリングを消去します。(Appendix B参照)

SET SERVEr STRing n "..."
サーバストリングを設定します (Appendix B参照)

SET SERVICE <servicename> <protocol> [EN|DIS]
サービスで使用するプロトコルの有効/無効設定を行います。

SET SERVICE <servicename> BOT nn
サービスのBOT として番号nnのストリングを設定します (Appendix B参照)

SET SERVICE <servicename> EOT nn
サービスのEOT として番号nnのストリングを設定します (Appendix B参照)

SET SERVICE <servicename> FILter nn
サービスのフィルタ として番号nnを設定します (Appendix B参照)

SET SERVICE <servicename> FMS <matchnumber>
サービスの検索ストリング として番号nnのストリングを設定します (Appendix B参照)。一部のプリントサーバーではサポートしていません。

SET SERVICE <servicename> FRS <replacenumber>
サービスの置換ストリング として番号nnのストリングを設定します (Appendix B参照)。一部のプリントサーバーではサポートしていません。

SET SERVICE <servicename> NAme <newname>
サービス名を設定します。

SET SERVICE <servicename> RECeive [EN|DIS]
指定されたサービスを受け取り専用を設定をします。

SHow FATAI
Fatal errorログを表示します。

SHow FREE
プリントサーバーで内部的に使用可能なメモリー容量を表示します。

SHow LOAD
ファームウェアのロードに関する設定情報を表示します。

SHow PORT
ポートの設定情報を表示します。

SHow PORT <name> STA
ポートの状態を表示します。

SHow SERVEr
プリントサーバーの情報を表示します。

SHow SERVEr COunters
プリントサーバーの統計情報を表示します。

SHoW SERVIce
サービスの情報を表示します。

SHoW TEStpage
テストページを印刷します。

SHoW VErsion
ファームウェアのバージョンを表示します。

UNPROtect
保護モードにあるとき (SET PROTECT コマンドを参照) 保護モードを一時的に解除します。SET DEFAULTコマンドを使用すると、恒久的に解除されます。一部のプリントサーバーではサポートしていません。

Zero
統計情報カウンターをリセットします。

SHoW SERVEr QUeue
プリントサーバーの内部キューとプリンターのフロントパネル情報を表示します。

SET ENET MODE [AUTO| FD100B| 100BAse| FD10B| 10BAse]
イーサネットの速度を設定します。

TCP/IP コマンド

SET IP Access [EN|DIS|ALL] aa.bb.cc.dd {Mask ee.ff.gg.hh}
プリントサーバーに対して、特定のIPアドレスをもつホストからのアクセスのみ有効に設定します。

SET IP ADDRESS aa.bb.cc.dd
プリントサーバーのIPアドレスを設定します。

SET IP BOot n
BOOTP/RARPのリトライ回数を設定します。

SET IP [EN|DIS]
IPプロトコルを有効/無効に設定します。

SET IP RArp nn
プリントサーバーがRARPサーバーからIPアドレスを取得する際のオプション設定をします。デフォルトでは、RARPサーバーと同じサブネットマスクとゲートウェイアドレスで設定されています。“nn”に1を設定するとサブネットマスクは設定されません。また“nn”に2を設定するとルータアドレス (ゲートウェイ) は設定されません。3の場合は、サブネットマスクもルータアドレス (ゲートウェイ) も設定されません。

SET IP ROuter aa.bb.cc.dd
プリントサーバーのルータアドレス (ゲートウェイ) を設定します。

SET IP SUBnet aa.bb.cc.dd
プリントサーバーのサブネットマスクを設定します

SET IP TImeout n
IPでの接続タイムアウト時間（分）を設定します。

SET SERVICE <servicename> IP [EN|DIS]
サービスに対してIPジョブのプールを有効 / 無効に設定します。

SET SERVICE <servicename> TCP nn
サービスにTCPカスタムポート番号 (>1023) を設定します

SHow IP
IP関連情報を表示します。

SHow IP ACcess
アクセス可能なホストのIPアドレスを表示します。

SET IP Method [AUTO|STATIC|DHCP|BOOTP|RARP]
IPアドレスの取得方法を設定します。

NetWare コマンド

CLear NETWare SErver *server*

プリントサーバーのサーバーアクセスリストから特定のNetWareバインダリファイルサーバーを消去します。

SET NETWare ADvertise *n*

プリントサーバーのアドバタイズ間隔を設定します。

SET NETWare [EN|DIS]

Netware (IPX/SPX) プロトコルの有効 / 無効を設定します

SET NETWare FRame [802.2|802.3|ETH|AU|SNA]

フレームタイプとして802.2, 802.3, Ethernet , AUTO, またはSNAPを設定します。

SET NETWare Network *n*

Netware 内部ネットワークナンバーを設定します。

SET NETWare NPrinter <pserver> *n* ON <servicename>

サービスに対してリモートプリンタモード設定をします。

SET NETWare PAssword <psw>

ファイルサーバー (キューサーバー) にログインするパスワードを設定します

SET NETWare POLLing *n*

キューをポーリングする間隔 (秒) を設定します。

SET NETWare QServer <fileserver> ON <servicename>

サービスに対してキューサーバーモードを設定します。

CLear NETWARe Qserver <fileserver> ON <service>

サービスに対してキューサーバーモードを解除します。

SET NETWare REscan

キューサーバー上のキューをスキャンします。

SET NETWare SErver <name> [EN|DIS]

プリントサーバーのサーバーアクセスリストに特定のNetWareバインダリファイルサーバーを追加します。

SET SERVIce <servicename> NETW [EN|DIS]

サービスに対してNetWareのジョブのスプールを有効 / 無効にします。

SHow NETWare

NetWareパラメータを表示します。

SHow SERVIce NDS

NDSパラメータを表示します。

SET SERVICE <servicename> TREE <string>
サービスに対してNDS treeを設定します。

SET SERVICE <servicename> CONtext <string>
サービスに対してNDS contextを設定します。

AppleTalk コマンド

SET APpletalk [EN|DIS]
Appletalkプロトコルを有効 / 無効に設定します。

SET APpletalk ZOne <name>
Appletalk ソーン名を設定します。

SET SERVICE <servicename> APP [EN|DIS]
サービスに対してAppletalkジョブのスプールを有効 / 無効に設定します。

SET SERVICE <servicename> RECEIVE [EN|DIS]
サービスに対して双方向通信を有効 / 無効に設定します。 .

SHow APpletalk
Appletalkパラメーターを表示します。

NetBIOS コマンド

SET NETBios IP Enable/Disable
NETBIOS over IPプロトコルを有効 / 無効に設定します。

SET NETBios Domain <name>
NETBIOS ドメイン / ワークグループ名を設定します。

SHow NetBios
NETBIOS設定を表示します。

インターネットプリント コマンド

SET POP3 Address aa.bb.cc.dd
POP3サーバーのIPアドレスを設定します。

SET POP3 Enable/Disable
POP3プロトコルを有効 / 無効に設定します。

SET POP3 Polling nn
POP3サーバーをポーリングする間隔 (秒) を設定します。

SET POP3 Name <name>
プリントサーバーのPOP3メールアドレスを設定します。

SET POP3 Password <password>
POP3メールアドレスのパスワードを設定します。

SET SMTP Address aa.bb.cc.dd
SMTPサーバーのIPアドレスで設定します。

SET SMTP ENable / DISable
SMTPを有効 / 無効に設定します。

SHOW POP3
POP3/SMTPのパラメータ設定を表示します。

SHOW SMTP
POP3/SMTPのパラメータ設定を表示します。

付録 B

プリントサーバーのファームウェアをアップデートする

概要

プリントサーバーのファームウェアはフラッシュメモリにセーブされています。したがってバグフィックス等のために新しいファームウェアファイルを入手すれば、ファームウェアをアップグレードすることができます。最新のファームウェアを入手するには<http://www.brother.co.jp/>へアクセスしてください。

◆ 注意

1. ファームウェアをプリンタにロードしている間は、通常の印刷と同様にプリンタのDATAランプが点滅します。完全にファームウェアをロードした後、フラッシュメモリへの書き込みをはじめます。この間、プリンタのALARMが点灯するとともにREADY LEDが不規則に点滅します。書き込みが完了すると、プリンタは自動的にリセットされ再起動します。従って、ファームウェアのロード後プリンタが自動的に再起動しREADY状態になるまでは、絶対に電源を切らないでください。フラッシュメモリ上のファームウェアが破壊されます。なお、プリンタが再起動するまでに数分かかる場合があります

2. ファームウェアをアップグレードした場合はプリントサーバーを工場出荷設定にリセットすることをお勧めします。また、ファームウェアによっては、アップデート後に自動的にかつ強制的に工場出荷値にリセットするものもあります。工場出荷設定を行う手順はクイックセットアップガイドを参照してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000上でBRAdmin32から リロードする

BRAdmin32を用いて容易にファームウェアをアップグレードすることができます。BRAdmin32を起動してください。

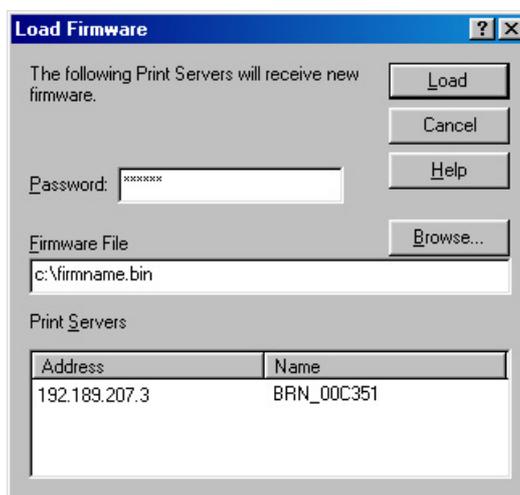
設定したいプリントサーバーを選択してください。コントロールメニューを押してファームウェアのリロードを選択します。2つ以上のプリントサーバーを同時にアップデートしたい場合はCTRL+<select>かSHIFT+<select>を押すと、同時に複数のプリントサーバーのアップデートを行うことができます。

プリントサーバーに新しいファームウェアをロードするには、以下の3つ方法があります。どの場合でも、パスワードが必要です。(パスワードを変更していなければ、デフォルトパスワードは“ access ”です。)

1. TFTP PUT

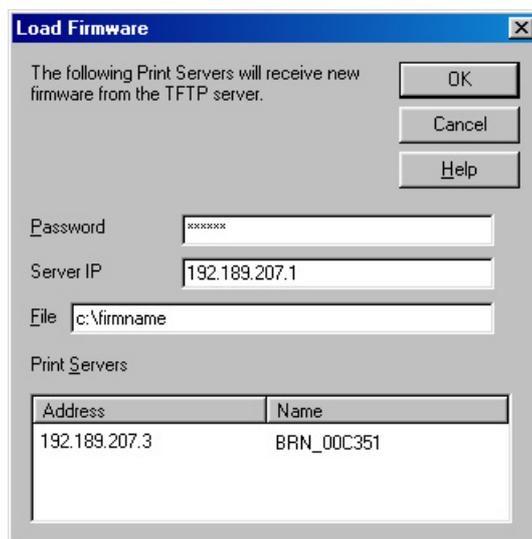
PCにTCP/IPがインストールされている場合はこの方法を使用してください。

BRAdmin32はTFTPプロトコルを用いてプリントサーバーに新しいファームウェアを送信します。



2. TFTP GET

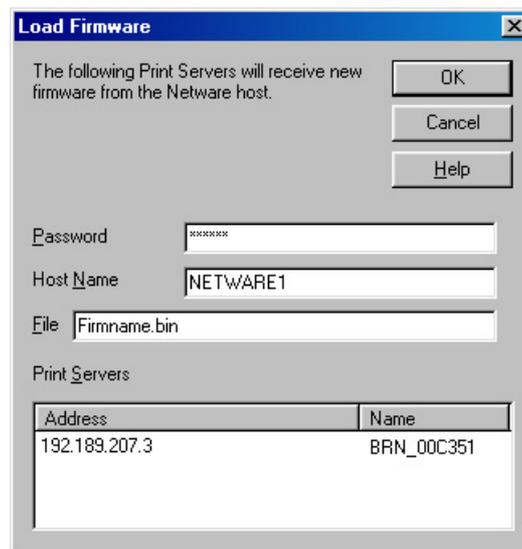
ネットワーク上にTFTPサーバー稼働している場合は（多くのUNIXはTFTPをサポートしています）この方法を使用できます。この方法では、プリントサーバーがTFTPサーバーからファームウェアファイルを直接読み込みます。新しいファームウェアファイルはTFTPサーバーのtftpbootディレクトリに入れてください。BRAdmin32はプリントサーバーに対して、指定したTFTPサーバーから指定したファームウェアファイルを読み込むように指示します。正しいファイル名が入力されなかった場合は、正常にアップグレードできません。ファイル名は大文字小文字を区別します。また、プリントサーバーがファームウェアファイルを読み込めるようにパーミッションが設定してあることを確認してください。例えば、`chmod filename 666`を用いれば誰でもそのファイルにアクセスすることができます。



3. Netware GET

ネットワーク上にNetwareサーバーが稼働している場合は、この方法を使用できません。この方法では、プリントサーバーがNetwareサーバーからファームウェアファイルを直接読み込みます。新しいファームウェアファイルはNetwareサーバーのSYS:LOGINディレクトリに入れてください。

BRAdmin32はプリントサーバーに対して、指定したNetwareサーバーから指定したファームウェアファイルを読み込むように指示します。正しいファイル名が入力されなかった場合は、正常にアップグレードできません。ファイル名は大文字小文字を区別しません。



BRAdmin32以外からのファームウェアのアップデート方法

パラレルI/Fからの転送

これは、ホストPCからパラレルI/Fを通して、プリンタへ直接ファームウェアファイルを送る方法で、COPY /b コマンド等で LPT ポートへファイルをコピーすることにより実行されます。ただし通常ファームウェアファイルはサイズが大きいため、標準の COPY コマンドでは時間がかかります。なお、この方法はプリンタの電源をONした直後の Ready 状態での実行を前提とします。

例 プリンタがパラレルI/FでLPT1に接続されている場合、DOSプロンプト上で以下のように入力します。

```
>COPY /b firmware.blf LPT1:
```

TFTPを使ってUNIXホストコンピュータからファームウェアをアップデートする

UNIX tftpサービスを用いてファームウェアをダウンロードする場合は、まず tftpサービスが稼働しているUNIXホストのtftpbootディレクトリにファームウェアファイル(例: firmware.blf)をコピーしてください。そして、tftpサービスが稼働していることを確認してください。tftpはホスト上のシステムファイルによって確認できます。(通常はtftpは/etc/servicesファイルで有効に設定されます、etc/inetd.confのようなほかの設定ファイルにある可能性もあります)詳細についてはお使いのUNIXシステムの説明書を参照してください。

TELNETを用いてプリントサーバーにログインし、以下のコマンドを実行してください:

```
SET LOAD IP unixhost-ipaddress  
SET LOAD SOFTWARE "firmware.blf"  
SET LOAD ENABLE  
EXIT
```

`unixhost-ipaddress`はtftpサービスの稼働しているUNIXホストのIPアドレスであり、`firmware.blf`はファームウェアのファイル名です。(大文字小文字を区別します。)

また、Unixホスト上のファームウェアファイルをプリントサーバーが読めるようにパーミッションの設定をしてください。これを行うため、`chmod`コマンドを使い、ファイルのパーミッションを指定します。例えば、`chmod filename 666`によってそのファイルへはだれでもアクセスできるようになります。

リモートコンソールを終了する際にCTRL-DまたはEXITを入力すると、プリントサーバーは、ファームウェアのロードを開始します。

NetWareサーバーからファームウェアをアップデートする

NetWareサーバーからファームウェアをダウンロードする際は始めにSYSボリューム上の¥loginディレクトリ (SYS:¥LOGIN) にファームウェア (例: Firmware.blf) をコピーしてください。 ¥loginディレクトリに置くことによりプリントサーバーは、セキュリティに無関係にファイルにアクセスすることができます。

TELNETまたは、BRCONFIGを用いてプリントサーバーにログインし、以下のコマンドを実行してください:

```
SET LOAD HOST fileservername  
SET LOAD SOFTWARE firmware.blf  
SET LOAD ENABLE
```

fileservernameは、ファームウェアファイルを置いたNetwareサーバー名、
firmware.blfは、ファームウェアファイル名です。

リモートコンソールを終了する際にCTRL-DまたはEXITを入力すると、プリントサーバーは、ファームウェアのロードを開始します。

索引

A

ARP 1-7

B

BOOTP 1-4, 1-7, 2-3
BRAdmin32 1-4, 2-1

D

DHCP 1-4, 1-7, 2-3
DOS 1-7

I

IPP印刷 1-12
IPアドレス 1-4, 1-7, 2-1
IPX/SPX 2-3

L

LPR 2-1

M

Macintosh 6-1

N

NT 3.5x 1-1
NT 4.0 1-2
NT3.5x 1-12
NetBIOS 3-1
Netware IPX/SPX 5-1
NWAdmin 5-1

P

ping 1-7, 1-14
Peer To Peer印刷 2-1
PCONSOLE 5-1, 5-3, 5-16

R

RARP 1-4, 1-7, 2-3

T

TCP/IP 1-1